本文

官報

昭和七年十二月二十七日
第千七百九十九號　火曜日

勅令

朕朝鮮總督府警察官服制改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和七年十二月二十六日

内閣總理大臣　子爵　齋藤　實
拓務大臣　永井柳太郎

勅令第三百八十號

朝鮮總督府警察官服制

朝鮮總督府警察官服制別表ノ通定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ制服ハ當分ノ内仍之ヲ用フルコトヲ得

（別表）

警察官服制表

	警察部長	警視	警部	警部補	巡査部長	巡査	形狀
上 袖 章	徑一八粍ノ金色略日章三箇ヲ附ス 金線一粍ノ黑色縞織ヲ上面ニ二條ノ金線及幅二

「ヘルメット」形帽

徽章	製式	地質
		鼠茶褐布
		同
		上
		圖ノ如シ

帽

帽略 徽章	帽略 製式	帽略 地質	帽正 徽章	帽正 製式	帽正 地質
二粍ノ條ヲ纏フ	斜子織ノ上ニ金線ヲ附シ	正帽ニ同ジ	前章ハ正帽ニ同ジ	蹴形、黒革及顎紐製、幅二粍ノ製前ニ附ス	同
一粍ノ條ヲ纏フ	線ノ條ヲ六粍ノ組金線ヲ附シ	同	幅ノ周圍ニ黒色ハ同上但シ	帽ノ側ノ頂ニ端ヲ附ス	上
一粍ノ條ヲ纏フ	線ノ條ヲ六粍ノ組金線ヲ附シ	同	線蛇腹組金ハ同上但シ	徑二粍ノ周囲ニ端ヲ附ス	同
一粍ノ條ヲ纏フ	線ノ條ヲ六粍ノ組金線ヲ附シ	同	線蛇腹組金ハ同上但シ	徑二粍ノ周囲ニ端ヲ附ス	上
		鼠茶褐布	前章ハ正帽ニ同ジ	蹴形、黒革及顎紐製、幅二粍ノ製前ニ附ス	鼠茶褐絞又ハ濃紺絞
		同	幅ノ周圍ニ黒色ハ同	帽ノ側ノ頂ニ端ヲ附ス	同
		上	線蛇腹組金ハ同上但シ	徑二粍ノ周囲ニ端ヲ附ス	上
		圖ノ如シ	線蛇腹組金ハ同上但シ	徑二粍ノ周囲ニ端ヲ附ス	圖ノ如シ

刀

刀	短刀	刀	帽寒防 徽章	帽寒防 製式	帽寒防 地質
其ノ周囲ニ櫻唐草ヲ附ス		表ハ黒革、裏ハ黒絞又ハ濃紺絞	正帽ノ前章ニ同ジ	兜形、垂布及耳ヲ附ス垂布ニ孔ヲ設ケ紐ヲ	同
中央ハ四ヶ所ニ金具ヲ附ス		幅ノ長サ三寸○端ニ掛ケ鈎ヲ附ス	上	上	上
箇ノ前ニ金具ヲ附ス		革幅ノ長サ三寸○鈎ヲ附ス	同	同	同
一箇ノ前ニ金具ヲ附ス		其ノ幅ノ上端ニ掛ケ鈎ヲ附ス	上	上	上
子ノ輪ヲ附ス		鐶ノ端ニ掛ケ鈎ヲ附ス	同	同	同
箇ノ輪ヲ附ス		鐶ノ端ニ掛ケ鈎ヲ附ス	上	上	上
箇ノ輪ヲ附ス		鐶ノ端ニ掛ケ鈎ヲ附ス	同	同	同
箇ノ輪ヲ附ス		鐶ノ端ニ掛ケ鈎ヲ附ス	上	上	上
各前ニ金具ヲ附ス	白鞘ノ長サ一尺○柄長サ一尺○	但シ鞘ノ長サ一尺○柄長サ一尺○	正帽ノ前章ニ同ジ	兜形、垂布及耳ヲ附ス垂布ニ孔ヲ設ケ紐ヲ	表ハ黒革、裏ハ黒絞又ハ濃紺絞
五乃至九尺○ハ長サ三寸○		刀ニ同ジ	上	上	上
鞘ノ長サ一尺○ハ長サ三寸○		刀ニ同ジ	同	同	同
鞘ノ長サ一尺○ハ長サ三寸○		刀ニ同ジ	上	上	上
鞘ノ長サ一尺○ハ長サ三寸○		刀ニ同ジ	同	同	同
鞘ノ長サ一尺○ハ長サ三寸○		刀ニ同ジ	上	上	上
鞘ノ長サ一尺○ハ長サ三寸○		刀ニ同ジ	正帽ノ前章ニ同ジ	兜形、垂布及耳ヲ附ス垂布ニ孔ヲ設ケ紐ヲ	表ハ黒革、裏ハ人造毛皮
鞘ノ長サ一尺○ハ長サ三寸○		刀ニ同ジ	同	同	同
鞘ノ長サ一尺○ハ長サ三寸○		刀ニ同ジ	上	上	上
鞘ノ長サ一尺○ハ長サ三寸○		刀ニ同ジ	圖ノ如シ	圖ノ如シ	圖ノ如シ

刀

刀	刀	刀	刀	刀	刀
右ニ各入ヲ附ス	一箇ノ物	右ニ各入ヲ附ス	一箇ノ物	右ニ各入ヲ附ス	一箇ノ物
同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上
同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上
同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上
同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上
同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上
海老茶色喰出ノ側章ヲ附ス	海老茶色喰出ノ側章ヲ附ス	海老茶色喰出ノ側章ヲ附ス	海老茶色喰出ノ側章ヲ附ス	海老茶色喰出ノ側章ヲ附ス	海老茶色喰出ノ側章ヲ附ス
同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上
圖ノ如シ	圖ノ如シ	圖ノ如シ	圖ノ如シ	圖ノ如シ	圖ノ如シ

外

外	外	外	外	外	外
金色ノ革ニ在リテハ金具ハ黒ニ代ヘテ用ヒル	鈎ノ長サ三寸○ハ長サ三寸○	場ニ乗馬ノ鈎ヲ附ス	金具ハ黒ニ代ヘテ用ヒル	金具ハ黒ニ代ヘテ用ヒル	金具ハ黒ニ代ヘテ用ヒル
得ヲ					

衣上

式製

警察部長
警視
警部
警部補
巡査部長
巡査

乘馬勤務巡査部長
巡査

備考

一 土地ノ狀況又ハ勤務ノ性質ニ依リ朝鮮總督ノ定ムル場合ニ於テハ肩章ヲ附セザルコトヲ得

二 短袴ハ長靴又ハ脚絆ヲ用フルトキ之ヲ著用ス

三 夏衣ヲ用フル場合ニ於テハ帽ニ鼠茶褐布ノ日覆ヲ附ス

四 短刀ハ交通取締、水上警察又ハ消防ノ勤務ノ者其ノ他土地ノ狀況又ハ勤務ノ性質ニ依リ朝鮮總督ノ指定スル者之ヲ佩用ス

五 「ヘルメット」形帽ハ交通取締、乘馬又ハ水上警察ノ勤務ノ者其ノ他土地ノ狀況又ハ勤務ノ性質ニ依リ朝鮮總督ノ指定スル者夏衣ヲ用フル場合ニ帽ニ代ヘ之ヲ著用スルコトヲ得

六 防寒帽及防寒外套ノ著用區域ハ朝鮮總督之ヲ定ム

七 勤務ノ性質ニ依リ常時附著スル必要アル腕章其ノ他ノ徽章ハ朝鮮總督之ヲ定ム

八 外套又ハ雨覆ニハリ冬ハ毛皮又ハ人造毛皮ノ襟ヲ附スルコトヲ得

九 土地ノ狀況又ハ勤務ノ性質ニ依リ必要アル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ特種ノ帽、防寒具、防火具、防水具若ハ防彈具ヲ著用セシメ又ハ銃、拳銃其ノ他ノ武器ヲ帶用セシムルコトヲ得

袖章

警察部長
警視
警部

警部補
巡査部長
巡査

肩章

正肩章

朝鮮 1799 号

肩章
警察部長
警視
警部
警察部補
巡査部長
巡査
櫻花章
略日章
釦

袴
警察部長
警察部視
警察部補
巡査部長
巡査部補
短袴
警察部長
警察部視
警察部補
巡査部長
巡査部補
乘馬勤務巡査部長

本文 1799 号

帽

帽正

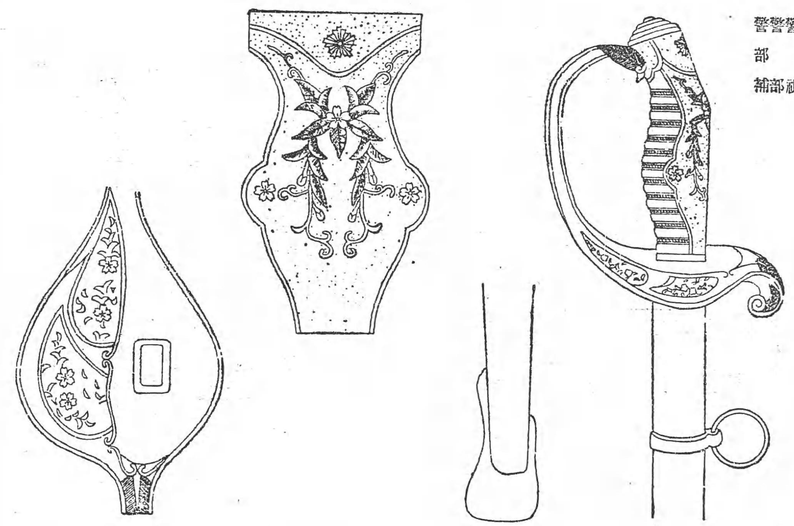
帽略

帽形ヘルメット

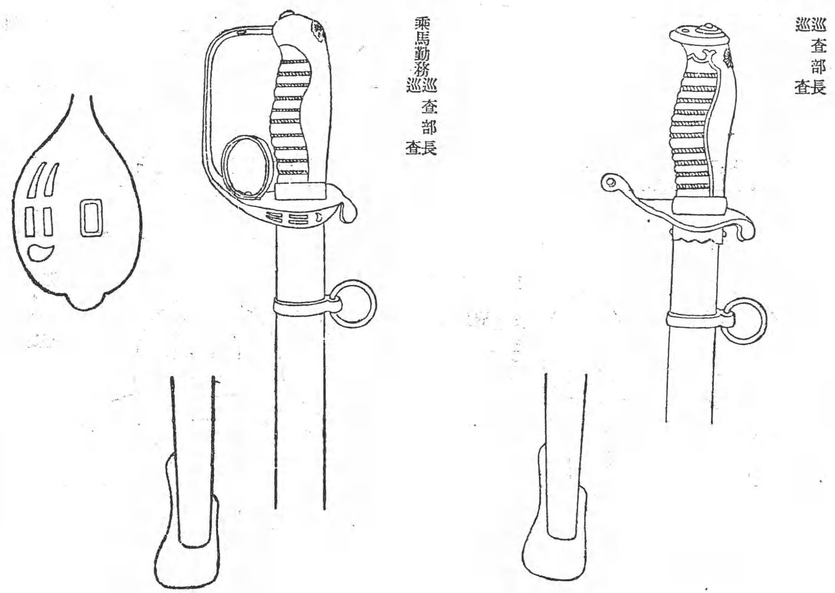
帽寒防

本文 1799 号

刀



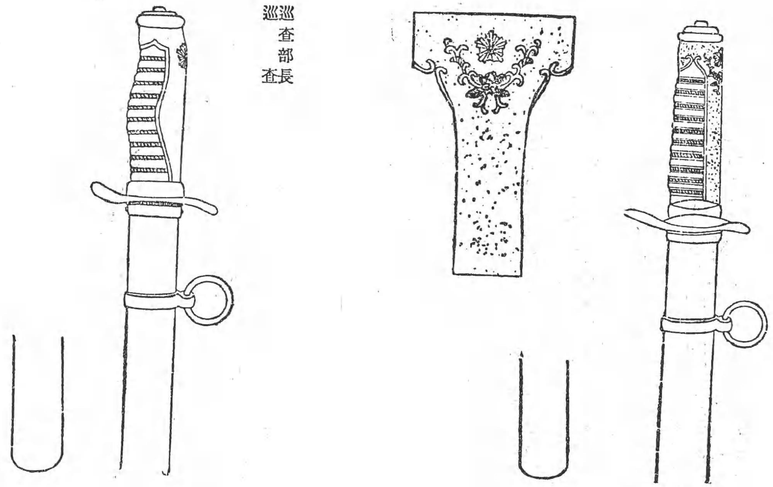
警察部警視長
警察部警視補



乘馬勤務巡査部長
巡査部長

巡査部長

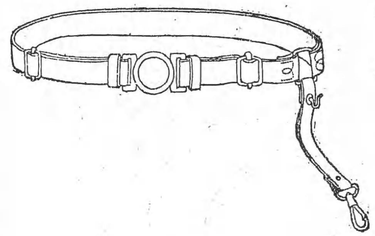
短刀



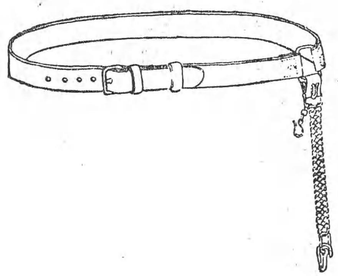
巡査部長

警察部警視補

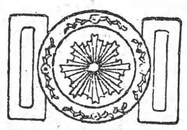
帶刀



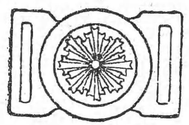
警察部警視長
警察部警視補
巡査部長



乘馬勤務巡査部長



警察部警視長
警察部警視補



巡査部長

第1799号

第1799号

外套

緒刀

緒正

緒略

巡査部長

前面

後面

袖章

警察部長

警視

警部

警部補

巡査部長

巡査

袖章

警察部長

警視

警部

警部補

巡査部長

巡査

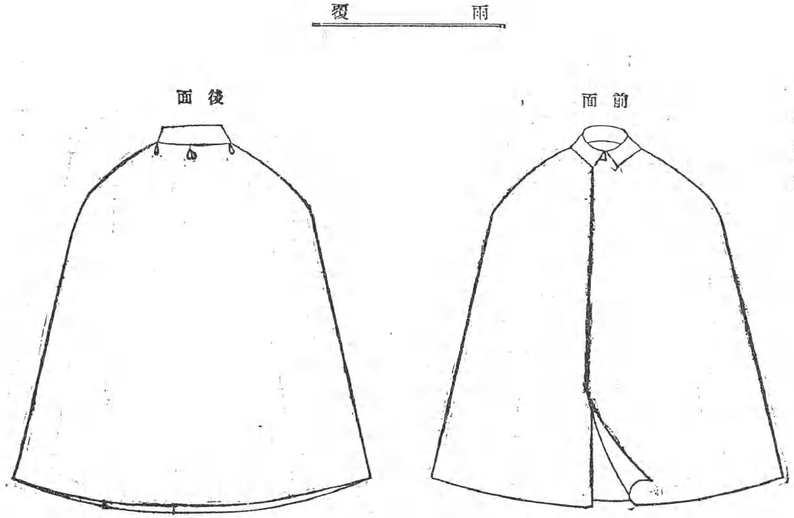
雨外套

前面

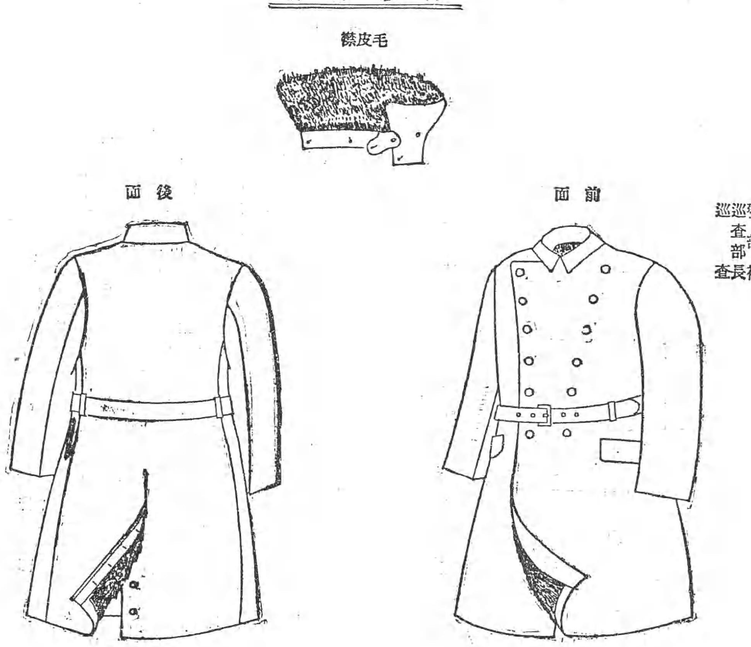
警察部長
警視
警部
警部補

後面

官報 1799 号 文本文



警察部長
警察部警視
警察部警部補



警察部巡査部長
警察部巡査部長補

省令

◎文部省令第十九號

私立獸醫專門學校指定規則左ノ通定ム

昭和七年十二月二十七日

文部大臣　鳩山　一郎

私立獸醫專門學校指定規則

第一條　私立獸醫專門學校ニシテ獸醫師法第一條第一項第一號ニ依リ文部大臣ノ指定ヲ受ケントスルトキハ其ノ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ申請スベシ但シ特別ノ規定ニ依リ既ニ文部大臣ニ開申シタル事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

一　學校ノ沿革

二　學則

三　教員ノ氏名、資格、學業經歷、擔當學科目及專任兼任ノ區別

四　生徒定員、現在生徒學年及學級別員數

五　校地、校舍、家畜病院、蹄鐵工場ノ圖面竝ニ其ノ所有ノ區別

六　經費及維持ノ方法

七　教授用竝ニ實驗實習用ノ器具、器械、標本及模型目錄

八　最近一箇年間各月ニ於ケル實習用患畜ノ種類別實數及延頭數竝ニ裝蹄用家畜ノ實數

九　最近一箇年間ニ於ケル實習用解剖家畜ノ種類別頭數

第二條　指定ヲ爲スベキ學校ハ左ノ各號ニ該當シ文部大臣ニ於テ其ノ管理及維持ノ方法確實ニシテ其ノ成績佳良ト認ムルモノニ限ル

一　生徒ノ定員ニ對シ相當ナル校地、校舍、校具、家畜病院、蹄鐵工場其ノ他ノ設備アルコト

二　必修學科目トシテ少クトモ左ノ科目ヲ教授スルコトヲ要ス

(一)解剖學實習、組織學實習、胎生學共

(二)生理學、醫化學

(三)病理學實習、病理解剖學實習、寄生學共

(四)藥物學調劑實習、動物學

(五)內科學臨床講義共、傳染病學臨床講義共

(六)外科學臨床講義共、產科學臨床講義共

(七)細菌及免疫學實習、衛生學實習、獸醫警察學共

(八)畜產學實習、家畜飼養學共

(九)裝蹄學實習

前號(一)乃至(九)ノ各項目毎ニ少クトモ公立私立專門學校規程第七條第一項ノ資格ヲ有スル教員一人ヲ採用スルコト

三　開校以來二年以上ヲ經過シタルコト

四　實習用患畜ノ數ハ每學年ノ平均生徒數五十人以內ノ學校ニ於テハ患畜ノ實數每月平均二十(內牛又ハ馬十以上)以上トシ生徒十人ヲ增ス每ニ患畜ノ實數四(內牛又ハ馬二以上)ヲ增スコト

五　實習用解剖家畜ノ數ハ每學年ノ平均生徒數五十人以內ノ學校ニ於テハ每年牛又ハ馬十頭以上トシ生徒十人ヲ增ス每ニ二頭ヲ增スコト

六　指定學校ニ於テ別科生徒等ヲ入學セシムルトキハ其ノ學籍簿ヲ別冊トナスベシ

第三條　指定學校ニ於テ學則所定ノ授業時數中授業ヲ受ケザルコト三分ノ一以上ニ及ブ生徒ハ進級若ハ卒業セシムルコトヲ得ズ

第四條　指定學校ニ於テハ學則所定ノ授業時數中授業ヲ受ケザルコト三分ノ一以上ニ及ブ生徒ハ卒業セシムルコトヲ得ズ

第五條　指定學校ニ於テ學年試驗若ハ卒業試驗ヲ施行セントスルトキハ三十日前ニ文部大臣ニ開申スベシ

第六條　文部大臣ハ文部省視學委員若ハ其ノ他ノ吏員ヲシテ試驗ニ立會ハシムルコトアルベシ

前項立會員ニ於テ必要ト認ムルトキハ自ラ試驗ヲ行ヒ又ハ試驗問題、試驗方法若ハ採點方法ヲ變更セシムルコトアルベシ

第七條　指定學校ハ本科ノ卒業試驗合格者ノ族籍、氏名、生年月日及各學科目點數及各學年ニ於ケル授業日數竝ニ出席日數ヲ具シ試驗後遲滯ナク文部大臣ニ開申スベシ

第八條　指定學校ハ每年六月三十日ノ調査ニ依リ翌月中ニ第一條第三號、第七號乃至第九號竝ニ左ニ揭グル事項ヲ具シ文部大臣ニ開申スベシ但シ特別ノ規定ニ依リ文部大臣ニ開申スベキ事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

一　現在生徒學年及學級別員數

二　當該學年ニ於ケル入學生徒數

三　當該年度經費豫算ノ細目

第九條　指定學校ニシテ本令ニ違背シ若ハ第二條ノ要件ノ一ヲ失ヒ其ノ他成績不良ナリト認メタルトキハ文部大臣ハ其ノ指定ヲ取消スコトアルベシ

第十條　此ノ規則ニ依リ文部大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スルコトヲ要ス

地方長官ニ於テ前項ノ書類ヲ受理シタルトキハ其ノ書類及實況ヲ精査シ意見ヲ付シテ進達スベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

達

◎陸達第二十九號

昭和六年陸達第七號新發田衞戍病院村松分院閉鎖ノ件ハ昭和七年十二月二十八日限リ之ヲ廢止ス

昭和七年十二月二十七日

陸軍大臣　荒木　貞夫

告示

◎大藏省告示第三百一號

鹽專賣法第八條及同法施行細則第十一條ニ依リ昭和八年中收納スル賠償價格ニ付テハ昭和六年十二月大藏省告示第三百十四號ノ例ニ依ル

昭和七年十二月二十七日

大藏大臣　高橋　是清

(參照)

昭和六年十二月二十六日大藏省告示第三百十四號ハ鹽ノ賠償價格ノ件ナリ

◎大藏省告示第三百二號

愛媛縣松山市湊町四丁目八十六番地株式會社今出銀行ニ對シ昭和七年十二月二十日銀行法第二十二條ノ規定ニ依リ該銀行ノ業務ニ屬スル新規取引ヲ爲スコトノ停止ヲ命シタリ

昭和七年十二月二十七日

大藏大臣　高橋　是清

◎大藏省告示第三百三號

聚ニ砂糖消費稅法施行規則第九條ノ三ニ依リ指定シタル左記內地移入糖移入場ハ昭和七年十二月二十六日之カ指定ヲ取消シタリ

昭和七年十二月二十七日

大藏大臣　高橋　是清

倉庫所在地	倉庫名稱及番號	移入場主住所及名稱
神戶市林田區高松町十六番地	臺灣製糖株式會社有馬倉庫第壹號	臺灣高雄州屏東郡屏東街歸來八百七十三番地臺灣製糖株式會社
同市同區同町三十四番地	同上第四號	
同市同區同町十三番地	同上第五號	

◎農林省告示第三百七十七號

機船底曳網漁業取締規則第七條ノ二ニ依リ左ノ通機船底曳網漁業ヲ禁止シ昭和八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年十二月二十七日

農林大臣　後藤　文夫

第1799号

各種機船底曳網漁業ヲ禁止スル區域及期間

區域	期間
一 東經百三十度ノ北東ト出雲國地蔵埼トノ兩線間ニ於テ肥前國、筑前國、豐前國、長門國、石見國及出雲國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面但シ第二號ノ區域ヲ除ク	自六月一日 至八月三十一日
二 出雲國日ノ岬ヨリ隱岐國三度埼ヲ經テ出雲國地蔵埼ニ至ル線以内ノ海面	自四月一日 至八月三十一日
三 出雲國地蔵埼ヨリ北東ノ線及沿岸朔望滿潮線上福井、石川兩縣界ヨリ北西ノ線ニ依リ圖マレタル海面	自六月一日 至九月三十日
四 沿岸朔望滿潮線上福井、石川兩縣界ヨリ北西ノ線ト陸奥國龍飛埼ヨリ正西ノ線トノ兩線間ニ於テ加賀國能登國越中國越前國羽前國及陸奥國ノ沿岸朔望滿潮線及陸奥國ノ沿岸朔望滿潮線上百海里以内ノ海面	自五月一日 至八月三十一日
五 陸奥國龍飛埼ヨリ正西ノ線、渡島國日方ノ岬ヨリ西南ノ線、陸奥國尻矢埼ヨリ東南東ノ線及沿岸朔望滿潮線上十勝、日高兩國界ヨリ南東ノ線ニ依リ圖マレタル海面	自七月一日 至十月三十一日
六 後志國狩田岬ヨリ正西ノ線、東經百三十九度ノ線及沿岸朔望滿潮線上北見國枝幸、紋別兩郡界ヨリ北東ノ線ニ依リ圖マレタル海面	自七月一日 至十月三十一日
七 沿岸朔望滿潮線上北見國枝幸、紋別兩郡界ヨリ北東ノ線、北見國界知床岬ヨリ北東ノ線、北見國根室兩國界ヨリ北東ノ線ト沿岸朔望滿潮線上根室、釧路兩國ノ沿岸朔望滿潮線上根室、釧路兩國ノ沿岸朔望滿潮線上百海里以内ノ海面	自六月一日 至八月十五日
八 北見國根室兩國界ヨリ北東ノ線ト沿岸朔望滿潮線上根室、釧路兩國ノ沿岸朔望滿潮線上百海里以内ノ海面	自三月一日 至五月三十一日
九 沿岸朔望滿潮線上根室、釧路兩國界ヨリ南東ノ線ト沿岸朔望滿潮線上十勝、日高兩國界ヨリ南東ノ線ニ於テ釧路、十勝兩國ノ沿岸朔望滿潮線上百海里以内ノ海面	自六月一日 至七月三十一日
十 陸奥國尻矢埼ヨリ東南東ノ線ト陸前國唐桑埼（御埼）ヨリ正東ノ線トノ兩線間ニ於テ陸奥國ノ沿岸朔望滿潮線及陸前國ノ沿岸朔望滿潮線上百海里以内ノ海面	自六月一日 至十月三十一日
十一 陸前國唐桑埼（御埼）ヨリ正南ノ線ト陸前國牡鹿半島ノ鬼ヶ埼ヨリ正東ノ線トノ兩線間ニ於テ陸奥國ノ沿岸朔望滿潮線及陸前國ノ沿岸朔望滿潮線上百海里以内ノ海面	自六月十六日 至九月三十日 但シ沿岸朔望滿潮線上茨城、千葉兩縣界ヨリ東ノ線以南ノ海面ニ於テハ昭和九年十二月十七日ヨリ自七月三十日至八月三十日
十二 安房國野島埼燈臺ヨリ正南ノ線上三重、和歌山兩縣界ヨリ南東ノ線ニ於テ安房國相模國、伊豆國駿河國、遠江國、三河國及紀伊國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面	自七月一日 至十月三十一日
十三 沿岸朔望滿潮線上三重、和歌山兩縣界ヨリ南東ノ線トノ兩線間ニ於テ紀伊國、阿波國、土佐國、伊豫國及豐後國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合百海里以内ノ海面但シ第十四號ノ區域ヲ除ク	自五月一日 至九月三十日
十四 日向國一ノ瀬川口中央ヨリ正東ノ線ト鵜戸埼ニ於テ日向國ノ沿岸朔望滿潮線ヨリ沖合三十海里以内ノ海面	自五月一日 至翌年一月三十一日

二艘曳機船手繰網漁業及二艘曳機船打瀬網漁業ヲ禁止スル區域及期間

區域	期間
一 丹後國成生埼ヨリ正北ノ線及沿岸朔望滿潮線上福井、石川兩縣界ヨリ北西ノ線ニヨリ圖マレタル海面	自四月一日 至五月三十一日
二 石川縣界ヨリ北西ノ線ニヨリ圖マレタル海面	自十月一日 至十一月三十日

◎農林省告示第三百七十八號

大正十年九月農商務省告示第二百二十三號機船底曳網漁業禁止區域中左ノ通改正シ昭和八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年十二月二十七日

農林大臣　後藤　文夫

第八號中「多古鼻ノ正北五海里ノ點、沖御前島頂上ヲ經テ但馬國餘部埼ニ至ル線内」ヲ「多古鼻ノ正北五海里ノ點ヲ經テ因幡國長尾鼻ニ至ル線内」ニ改ム

第八號ノ二ヲ第八號ノ三トシ第八號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

八ノ二　出雲國沖御前島頂上ヨリ但馬國餘部埼ニ至ル線内

第十九號中「陸中國辨天鼻ノ正東五海里ノ點、黒埼ノ正東三海里ノ點、鮭埼ノ正東三海里ノ點、龜ケ埼ノ正東三海里ノ點、綾里埼ノ南東三海里ノ點、唐桑埼ノ正東三海里ノ點、辨天鼻ノ正東八海里ノ點、三崎ノ正東八海里ノ點、黒埼ノ正東八海里ノ點、明神鼻ノ正東八海里ノ點、鮭埼ノ正東八海里ノ點、龜ケ埼ノ正東八海里ノ點、御箱埼ノ正東八海里ノ點、陸前國首埼ノ正東八海里ノ點、綾里埼ノ正東八海里ノ點、尾崎ノ正東八海里ノ點、唐桑埼（御埼）ノ正東三海里ノ點」ニ改ム

第二十一號ヲ左ノ如ク改ム

二十一　安房國野島埼燈臺ヨリ同燈臺ノ西南西七海里ノ點、相模國城ケ島西端ヨリ距ル四海里ノ點ヲ經テ眞鶴埼ニ至ル線上城ケ島西端ヨリ眞鶴埼ニ至ル線内

第三十號ヲ左ノ如ク改ム

三十　土佐國神ノ峰頂上ヨリ加江埼ニ至ル線内

第三十三號ヲ左ノ如ク改ム

三十三　伊豫國横島南端ヨリ豊後國鶴見埼ニ至ル線内

第三十三號ノ二ヲ第三十三號ノ三トシ第三十三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

三十三ノ二　豊後國水之子島ヨリ深島頂上ノ正東三海里ノ點、日向國一ノ瀬川口中央ノ正東九海里ノ點、都井埼ノ正東七海里ノ點ヲ經テ大隅國觀音埼ニ至ル線内

◎農林省告示第三百七十九號

京都府葛野郡小野郷獵區ニ於ケル承認料變更ノ件昭和七年十二月二十四日左ノ通認可シタリ

昭和七年十二月二十七日

農林大臣　後藤　文夫

一承認料　一人一承認期間十一圓

◎商工省告示第五十九號

高知市中央卸賣市場肉類部及鳥卵部昭和七年十一月二十八日ヨリ業務開始ノ旨届出アリタリ

昭和七年十二月二十七日

商工大臣　男爵　中島久萬吉

◎遞信省告示第二千三百七十一號

昭和八年一月一日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス

昭和七年十二月二十七日

遞信大臣　南　弘

名稱　位置

豊田郵便局（トヨダ）　熊本縣鹿本郡吉松村

俵ケ浦郵便局（タワラガウラ）　長崎縣北松浦郡相浦町

◎遞信省告示第二千三百七十二號

本日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號海岸局、船舶局、固定局及託送發受所名等中、固定局「ノ部ヲ左ノ通改ム

昭和七年十二月二十七日

遞信大臣　南　弘

「東京」ノ項中「JAP」ノ次ニ左記ヲ加フ

JAQ（八〇六〇）
JAR（一四〇六四〇）
JAS（一八三六〇）
「名古屋」ノ項ノ末尾ニ左記ヲ加フ
JNL（六八一〇）

◎遞信省告示第二千三百七十三號

昭和八年一月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

昭和七年十二月二十七日

遞信大臣　南　弘

名稱　位置

上浦幌郵便局　北海道十勝國十勝郡浦幌村
沼ノ端郵便局　同擔振國勇拂郡苫小牧町
厚内郵便局　同十勝國十勝郡大津村
庶路郵便局　同釧路國白糠郡白糠村

◎遞信省告示第二千三百七十四號

昭和八年一月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始ス

昭和七年十二月二十七日

遞信大臣　南　弘

名稱　位置

雄武郵便局　北海道北見國紋別郡雄武村
豐頃郵便局　同十勝國中川郡豐頃村

◎遞信省告示第二千三百七十六號

昭和八年一月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

昭和七年十二月二十七日

遞信大臣　南　弘

名稱　位置

笹倉郵便局　熊本縣阿蘇郡波野村
千丁郵便局　同八代郡千丁村
山西郵便局　同阿蘇郡山西村
松求麻郵便局　同八代郡上松求麻村
湊郵便局　佐賀縣東松浦郡湊村

◎鐵道省告示第五百四十七號

昭和五年三月鐵道省告示第六十八號連帶運輸ヲ爲ス鐵道、軌道、航路及自動車並連帶運輸ノ範圍第一條別表中左ノ通改正シ昭和七年十二月二十八日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年十二月二十七日

鐵道大臣　三土　忠造

(81)	西武鐵道株式會社			
	山手線		高田馬場	旅客、手荷物、小荷物、附隨小荷物
	川越線	中央本線	國分寺	旅客、手荷物、小荷物、附隨小荷物
	村山線	山手線	池袋	旅客、手荷物、小荷物、附隨小荷物
	大宮線	武蔵野鐵道線（所澤ノ部特種乘車券關係ノ線）		同
	多摩線	東北本線	中央大武蔵線	同
			宮境	旅客、手荷物
			本線	旅客、手荷物、小荷物、附隨小荷物
			旅客、手荷物、小荷物、附隨小荷物	同
			貨物	同

◎鐵道省告示第五百四十八號

昭和五年三月鐵道省告示第六十八號連帶運輸ヲ爲ス鐵道、軌道、航路及自動車並連帶運輸ノ範圍第一條別表中左ノ通改正シ昭和八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年十二月二十七日

鐵道大臣　三土　忠造

(234)	耶馬溪鐵道株式會社		
	鐵道線	日豐本線	中津
	大湯線	豐後森	旅客、手荷物、小荷物、附隨小荷物
	自動車線	大湯線	旅客、手荷物、附隨小荷物
	豐後森	日豐本線中津	但シ附隨小荷物ハ左記ノモノヲ取扱ハズ
	深耶馬間	鐵道線中津	旅客規則第二百七十四條第一號乃至第五號ノ物品
	中津守實間	鐵道線中津	旅客、手荷物、小荷物、附隨小荷物
	深耶馬間經由	日豐本線中津	但シ附隨小荷物ハ左記ノモノヲ取扱ハズ
			旅客規則第二百七十四條第一號乃至第五號ノ物品
			團體

參宮急行電鐵株式會社線ノ部特種乘車券關係「團體」ヲ削ル

◎昭和七年十二月十五日

同	同	同
同	同	同
同	同	同

（各通）

同 下村鐵男
同 安中忠雄
同 久山秀雄
同 增原惠吉
同 志賀孝
同 小河原進
同 湯原五郎
同 川原義任
同 蘆田良吉
同 森本爲之助
同 佐原貢
同 三田村豊
同 廣瀨明
同 川上米男
同 佐藤文哉
同 梨谷了祐
同 長義正
正八位 稲永幾輔
同 海部毅定
同 志賀寛
同 田中博
同 中平東稻
同 小澤和一
同 青柳利雄
同 片多嗣信
同 菅沼太一郎
同 豊住政治郎

紋正七位

正八位勳八等 吉川浩
正八位 栗原末雄
同 志水亀太郎
同 小塚俊夫
同 川井泰三郎
同 角田治郎
同 井口忠治
正八位勳七等 皆良田善太郎
正八位 兼次忠藏
正八位勳八等 永田亥之助
正八位 南波辰夫
同 野本宇兵衛
同 狩野道美
同 近末貢
同 本多要
同 加藤悌夫
同 平仲次
同 中村德松
同 佐野間十郎
同 前田善教
同 吉田嘉七
同 神谷基馮
同 森佐二郎
同 宮城桃幸
同 赤澤鉞太郎
同 小林剛
同 川口秀一
同 山田三人
同 岡藤一雄
同 高柳幸
同 中村喜忠
同 小谷正雄
同 林田和博
同 三崎菊枝
同 今井信克
同 猪原清
同 竹山祐太郎
同 遠藤三郎
同 安倍政義
同 小島增造
同 小引掌
同 金時長三郎
同 野原寛藏
同 細江直矢
同 大坊政源
同 木村政衛
同 松本俊雄
同 杉豊
同 下村浩
同 小川茂
勳八等 德田野尻槌松
勳八等 猪野牛內
同 戸田敏雄
同 石山勝藏
同 藤田正美
同 岡孝樹
同 大橋錄郎
同 海老原大作
同 安藤通治
同 石塚五郎
同 飯岡方道
同 增淵藤一郎
同 加藤善作
同 加藤喜久司
同 柴崎良平
同 高橋賢
同 高橋田鹿
同 廣澤楨二郎
同 齋藤萬哉
同 伊澤幹一郎
同 岩本平太郎
同 鈴木國之助
同 山中武彦
同 高瀨越
勳八等 永山市助
同 大林多次郎
同 多田良太
同 眞部朋一
同 近石正彦
勳八等 馬淵孝一
同 堀部信三
同 野村宗男
同 篠田省三郎
同 林清吾
同 柳橋新三郎
同 黑川周治
同 中島芳次
同 加藤龍三
同 都竹友四郎
同 粥川重吉郎
同 伊藤作二
同 鹽田定一
同 太田成三
同 小塚義一郎
同 酒井清一
同 後藤里
勳七等 武內重六郎
勳八等 室町正三郎
同 日比駒藏
同 村瀨清三郎
同 荒木與逸
同 長濱惠
勳八等 國司郁太郎
同 山本信善
同 大谷直一
同 西田健太郎
同 田邊靜太
同 村木宗左衛門
同 佐野誠一
同 玄馬小次郎
同 横田勘三郎
同 三宅嘉藤治
同 今井良平
同 安田數太
同 村上峰藏
同 田村郡治
同 中永太郎
同 熊澤亨
同 犬飼栢太郎
勳八等 服部新五郎
同 金森熊治郎
同 藤田政逸
同 細野正長
同 國友金吾
同 增谷要之助
同 水本喜代治
同 脇坂芳三郎
同 園田於蒐
同 狩野寅藏
同 川合牛之助
同 北野源治

同 鈴木喜一
同 所篤市
同 中村治吉
同 國枝順一
勳八等 楠巍々治
同 中川尙三
同 瀧川修三
同 長井庄太郎
同 島村秀雄
同 塩谷安太郎
同 高松直治
同 櫻井義次郎
同 渡部嘉一郎
同 高森次郎
勳八等 兼丸哲平
同 田土甚喜
同 岩下仁
同 野尻忠雄
同 古內常雄
同 荒木松衛
同 村上市八
同 染森吉雄
同 中嶋敏雄
同 松田文吉
同 福田渡
同 門司達彥
同 池井文三郎
同 中村虎雄
同 小松菊松
同 今村正記
同 宮本善市
勳八等 仲村辰四郎
同 中潟俊雄
同 柏村幸太郎
同 武內源作
同 吉田市之助
同 吉田榮
同 加藤忠壽
同 大久保一郎
同 郡邦衛

（各通）

同 田部兵庫
同 鈴木春治
同 柳澤延秋
同 前川三省
勳八等 志賀秀孝
同 西村元佑
同 衣川幸次郎
同 林田久吾
同 齋藤千榮治
同 上島信三郎
同 志賀又市
同 山本祿太郎
同 川面茂右衛門
同 石田牧之助
同 清水久次郎
同 大槻鉞太郎
同 金田萬之助
同 富岡重治
同 上田房次郎
同 安原長吉
同 池野藤太郎
同 林清次郎
同 富山包正
同 川面近三
同 阪根治三郎
勳七等 安田正春
同 津田勝二
同 山縣五一
同 八卷芳夫
勳八等 日比弘
同 間島康介
勳六等 菊田雄藏
勳七等 會田健吉
同 松島松治郎
勳八等 田端貞信
同 村田嘉傳治
勳八等 工藤良三
同 本田重一
勳七等 押野吉三
勳六等 伊澤恒重
同 池田萬作
同 小木田繼四郎
勳八等 中島佐助
勳七等 齋藤正利
同 阿部重郎
同 瀧澤正幸
同 森長本吉
同 伊藤利正
同 岡田順一
勳七等 川口久次郎
勳六等 渡部秋郎
勳七等 笹木吉松
勳六等 春原幸一
同 大山蓊
勳七等 吉岡爲一郎
同 洞內忠見
勳六等 木村元次郎
同 田尻定一
同 山本義明
同 十万銀右衛門
勳七等 井口友作
同 長谷川清次郎
勳六等 藤卷喜三郎
同 日下精二
勳七等 勝部初太郎
勳六等 小林寶藏
同 後藤勞馬
勳八等 山上淺藏
勳七等 藤木亨三
同 島田清市郎
同 糟川政治
勳六等 三浦末治
勳七等 大町剛
同 米山勝治
勳六等 原川鶴一
勳七等 西田義雄
同 鴨崎熊市
同 泉谷彌八
同 石川久藏
同 八山種吉
同 山崎久太郎
勳六等 野村軍四郎
同 佐伯康治郎
勳七等 內田令二郎
同 中村平治
同 遠藤深喜
勳六等 太田金次郎
同 永井稔
同 伊丹勝
同 有內與一
勳七等 渡邊源左衛門
同 二瓶義正
勳六等 吉田忠平衛
勳七等 森靜雄
同 田中清右ヱ門
同 眞木友吉
同 高森丈四郎
勳六等 小倉正義
勳七等 森友記
勳六等 山根荒一
勳七等 高津不二夫
勳六等 濱上甕之助
勳七等 高橋清
同 寒河江與四藏
同 中谷幸次郎
同 松下成生
同 鈴木文次郎
同 齋藤淇九郎
同 江口久五郎
同 古城庄六
同 東海林松次郎
勳八等 加藤吉治
勳六等 丸山三男治
勳七等 谷ケ崎七郎
勳六等 柴田義雄
勳七等 高井安意
勳六等 橫山榮五郎
勳八等 渡邊義夫
同 沼倉靖

官報 1799 号

同　遠藤千代治
同　山口　秀一
勳六等　溜口　武男
勳八等　重村　正晴
勳六等　井上純一郎
勳八等　垣上　勁節
同　鴨ヶ　多吉
勳六等　八卷　要
勳八等　保坂　榮一
同　秋山作太郎
同　勝山亀三郎
勳七等　竹下　隆市
勳八等　小林　勇
勳六等　辰野　榮藏
勳七等　道川　元一
勳六等　夏目　重藏
勳八等　大野　治一
同　田子　耕造
勳七等　櫻井　米治
同　北村德次郎
同　正木　晶吉
勳八等　中津　正雄
勳六等　富田　優勝
同　小野　實一
勳八等　渡部　忠夫
同　上本　孝男
勳六等　長谷川圭治郎
勳八等　横山　信治
勳七等　柳原伊四郎
同　古田　勝義
勳六等　仲　堅固
勳七等　堀江　桑二
同　和泉　忠雄
同　野原　半吉
勳八等　竹内　茂
勳七等　太田和榮吉
同　多田　鬼一
同　原田　德藏
同　松本　三郎
同　山口　常光
同　榛本　正雄
同　村上　寅喜
同　中村　義雄
同　坂本　亀藏
同　福田　哲三
勳六等　大西　甕
勳七等　稗田伊八郎
同　菊本　寅一
勳六等　中村　實
勳七等　山本已之吉
勳八等　酒井　千里
同　是川　榮治
同　横山　德一
同　小栗　信藏
同　大久保知露
同　木田　恒助
同　付井　勝彌
同　黑木彌太治
勳七等　落合　唯一
同　島崎　良寛
勳八等　千葉狀之助
勳七等　松本　清高
勳八等　吉原　正五郎
同　賀來　助吉
同　永田　常助
同　栗谷　豊喜
同　伊藤　伍郎
同　高巢虎五郎
同　川村　晴隆
同　押川　貞藏
同　内田　勝雄
同　平林　實男
同　諸橋　信彌
同　亀田　昌樹
同　酒匂　潔

◎昭和七年十二月十七日
從六位勳五等　長岡　寛
敍從七位
敍正六位

◎昭和七年十二月二十四日
敍從七位
◎昭和七年十二月二十六日
從五位勳三等功五級　河野　巽
從五位勳六等　勅使河原文
敍正五位
正六位勳三等　今井　善治
正六位勳六等　加瀨　泰一
敍從五位
從六位　足達　丑六
從六位勳五等　橘高　香一
從六位勳四等　澤田　由三
敍正六位
正七位勳六等　谷脇虎之助
敍從六位
製鐵所理事正五位勳六等　磯谷　光亨
工業試驗所技師正五位勳六等學校教授正五位勳五等　平野　久保
臺灣總督府臺北高等學校教授正五位勳五等　庄司萬太郎
陸軍技師　川口　秀一
陸軍教授　永谷　謙三
陸地測量師　山田辰次郎
農林技師　春日井新一郎
同　橋口　職
農林技師　神谷　尙志
同　海塩　義男
産業組合事務官　米澤　恒雄
農事試驗場技師　河田　黨
同　湯淺　啓温
同　横井　時次
水産講習所教授　今村　與作
生絲檢査所技師　高橋　獎
商工技師　石井　清彦
特許局事務官　堀　義臣
工業試驗所技師　增野　實
同　内田　俊一
輸出絹織物檢査所技師兼商工技師　田部　永次
工藝指導所技師兼商工技師　園井喜太郎
商工技師　村山　賢一
同　赤木　健
工業試驗所技師　大森台三郎
輸出絹織物檢査所技師兼商工技師　松井　隆
同　中村　林治
輸出絹織物檢査所技師兼商工技師　高木　頼三
工藝指導所技師　齋藤　信治
鑛山監督局技師　安田　業治
燃料研究所技師　遠藤永次郎
同　黑川　眞武
特許局技師　小山　甲三
同　兒玉　忠雄
同　中村　保彦
同　島田　堅三
同　佐多　眞一
同　上野　宇三
工業試驗所技師　斯波　之茂
同　石村幸四郎
同　高橋　武雄
同　折戸　勇
同　相川　良次
同　松田多亀知
絹業試驗所技師　尾川　岸太
鑛山監督局書記官　風早　義確
同　榎本　勝造
同　阿部　豊
同　橋原　勉
鑛山監督局技師　橋崎　研次
鐵道技師　三宅　靜一
同　小日向榮次郎
同　三好　新八
同　善如寺秀太郎
同　後藤　猛
同　石川　貫一
同　渡邊　寛治
鐵道局參事　大石　定吉
鐵道局副參事　間阪磨四郎
同　清　計太郎
鐵道局技師　金山　芳造
同　若林　崇
同　馬場　倉造
同　土井源三良
同　梶浦浩二郎
同　中島　昌夫
同　簗瀨　貞
同　太月　武一
鐵道局技師兼鐵道技師　藤井水三郎
鐵道局技師　依田　收一
同　三善　誠
同　熊野　一良
同　工富　工
同　久保田由五郎
同　久保雄三郎
松尾　巖
增田　沖三
古川　絳夫
江碕　太郎
淺野　亨
坂　速雄
岸　盛一
三井　六郎
三淵乾太郎
定塚　道雄
朱　萬成
東谷　義人
杉田　宗三
大谷　泰德
垣田　直人
馬場　橋吉
羽中田喜代作
鐵道局副參事　庄　肇
堀尾　利信
同　河内　蘭洲
鐵道局技師　武田　量華
同　藤田金次郎
同　伊東　祐介
鐵道省事務官　加藤鐵三郎
鐵道技師　岡　峻
同　牧野鍵太郎
同　平山　聚
同　石田啓次郎
同　吉岡　重慶
鐵道局副參事　高松金太郎
同　吉田　薦
同　濱藤吉太郎
同　一瀨　三郎
同　櫻井　藤吾
同　櫛田　博
同　安田　裕
同　岡田　五郎
同　中村豊四郎
鐵道局技師兼鐵道技師　岡　三郎
鐵道局技師　後藤　有三
同　折田　徹
同　板倉　寛
同　三好　武夫
同　大森　義文
同　今治　一雄
同　汐見　一郎
同　櫻井健治郎
陸軍技師　田中　宗雄
陸軍教授　内藤　博
陸地測量師　久任　進
同　渡邊　常造
同　高重　新三
同　奥戸　義確
同　小田　久藏
同　小川　保男
同　陳　慶華
同　遠山續太郎
同　西田賢次郎
同　磯部　秀夫
同　西尾　貢一
同　石井　末一
同　石井　文治
司法官試補　上田　孝造
同　黑坂　一男
任判事
敍高等官七等
同　伊東　勝
同　池本　光治
同　石合茂四郎
同　出射　義夫
同　羽中田金一
同　瀧田善次郎
同　西川　金矢
同　小幡勇二郎
同　大久保重太郎
同　加藤　毅
同　川上　悍
司法官試補兼陸軍工兵少尉正八位　輕部　武
司法官試補　上山　義昭
同　横川陽五郎
同　高木　尊之
同　松浦　英雄
同　笹原　元
同　平井　進
任檢事
敍高等官七等

任營林局技師
敍高等官四等
營林署技師陸軍歩兵少尉正六位　平岡　保
營林署技手從七位勳八等　須藤　秀
營林署技手　山内倭文夫
任營林署技師
敍高等官七等
高雄州港務課海軍中佐從五位勳五等　土井　卓三
任臺灣總督府州港務官
敍高等官六等　從七位勳六等　若宮　舍三
任臺灣總督府州港務醫官
敍高等官六等　千葉縣農林技手　三橋　邦治
同　橋爪　石民
栃木縣農林技手　柏瀨　忠次
酒戸彌二郎
地方農林技師ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
鳥取縣統計主事補　本郷　壽藏
地方統計主事ニ任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル

商工技師　金原　信泰
陸軍技師　神谷　尙志
同　海塩　義男
産業組合事務官　米澤　恒雄
農事試驗場技師　河田　黨
同　湯淺　啓温
同　横井　時次
水産講習所教授　今村　與作
生絲檢査所技師　高橋　獎
商工技師　石井　清彦
特許局事務官　堀　義臣
工業試驗所技師　增野　實
同　内田　俊一
輸出絹織物檢査所技師兼商工技師　田部　永次
工藝指導所技師兼商工技師　園井喜太郎
商工技師　村山　賢一
同　赤木　健
工業試驗所技師　大森台三郎
輸出絹織物檢査所技師兼商工技師　松井　隆
同　中村　林治
輸出絹織物檢査所技師兼商工技師　高木　頼三
工藝指導所技師　齋藤　信治
鑛山監督局技師　安田　業治
燃料研究所技師　遠藤永次郎
同　黑川　眞武
特許局技師　小山　甲三
同　兒玉　忠雄
同　中村　保彦
同　島田　堅三
同　佐多　眞一
同　上野　宇三
工業試驗所技師　斯波　之茂
同　石村幸四郎
同　高橋　武雄
同　折戸　勇
同　相川　良次
同　松田多亀知
絹業試驗所技師　尾川　岸太
鑛山監督局書記官　風早　義確
同　榎本　勝造
同　阿部　豊
同　橋原　勉
鑛山監督局技師　橋崎　研次
鐵道技師　三宅　靜一
同　小日向榮次郎
同　三好　新八
同　善如寺秀太郎
同　後藤　猛
同　石川　貫一
同　渡邊　寛治
鐵道局參事　大石　定吉
鐵道局副參事　間阪磨四郎
同　清　計太郎
鐵道局技師　金山　芳造
同　若林　崇
同　馬場　倉造
同　土井源三良
同　梶浦浩二郎
同　中島　昌夫
同　簗瀨　貞
同　太月　武一
鐵道局技師兼鐵道技師　藤井水三郎
鐵道局技師　依田　收一
同　三善　誠
同　大谷　泰德
垣田　直人
馬場　橋吉
羽中田喜代作
鐵道局副參事　庄　肇
堀尾　利信
同　河内　蘭洲
鐵道局技師　武田　量華
同　藤田金次郎
同　伊東　祐介
鐵道省事務官　加藤鐵三郎
鐵道技師　岡　峻
同　牧野鍵太郎
同　平山　聚
同　石田啓次郎
同　吉岡　重慶
鐵道局副參事　高松金太郎
同　吉田　薦
同　濱藤吉太郎
同　一瀨　三郎
同　櫻井　藤吾
同　櫛田　博
同　安田　裕
同　岡田　五郎
同　中村豊四郎
鐵道局技師兼鐵道技師　岡　三郎
鐵道局技師　後藤　有三
同　折田　徹
同　板倉　寛
同　三好　武夫
同　大森　義文
同　今治　一雄
同　汐見　一郎
同　櫻井健治郎
陸軍技師　田中　宗雄
陸軍教授　内藤　博
陸地測量師　久任　進
同　渡邊　常造
同　高重　新三
同　奥戸　義確
同　小田　久藏
同　小川　保男
同　陳　慶華
同　遠山續太郎
同　西田賢次郎
同　磯部　秀夫
同　西尾　貢一
同　石井　末一
同　石井　文治
司法官試補　上田　孝造
同　黑坂　一男
任判事
敍高等官七等
同　伊東　勝
同　池本　光治
同　石合茂四郎
同　出射　義夫
同　羽中田金一
同　瀧田善次郎
同　西川　金矢
同　小幡勇二郎
同　大久保重太郎
同　加藤　毅
同　川上　悍
司法官試補兼陸軍工兵少尉正八位　輕部　武
司法官試補　上山　義昭
同　横川陽五郎
同　高木　尊之
同　松浦　英雄
同　笹原　元
同　平井　進
任檢事
敍高等官七等
敍從七位
◎昭和七年十二月二十六日
從五位勳三等功五級　河野　巽
從五位勳六等　勅使河原文
敍正五位
正六位勳三等　今井　善治
正六位勳六等　加瀨　泰一
敍從五位
從六位　足達　丑六
從六位勳五等　橘高　香一
從六位勳四等　澤田　由三
敍正六位
正七位勳六等　谷脇虎之助
敍從六位
製鐵所理事正五位勳六等　磯谷　光亨
工業試驗所技師正五位勳六等學校教授正五位勳五等　平野　久保
臺灣總督府臺北高等學校教授正五位勳五等　庄司萬太郎
陸軍技師　川口　秀一
陸軍教授　永谷　謙三
陸地測量師　山田辰次郎
農林技師　春日井新一郎
同　橋口　職
農林技師　神谷　尙志
同　海塩　義男
産業組合事務官　米澤　恒雄
農事試驗場技師　河田　黨
同　湯淺　啓温
同　横井　時次
水産講習所教授　今村　與作
生絲檢査所技師　高橋　獎
商工技師　石井　清彦
特許局事務官　堀　義臣
工業試驗所技師　增野　實
同　内田　俊一
輸出絹織物檢査所技師兼商工技師　田部　永次
工藝指導所技師兼商工技師　園井喜太郎
商工技師　村山　賢一
同　赤木　健
工業試驗所技師　大森台三郎
輸出絹織物檢査所技師兼商工技師　松井　隆
同　中村　林治
輸出絹織物檢査所技師兼商工技師　高木　頼三
工藝指導所技師　齋藤　信治
鑛山監督局技師　安田　業治
燃料研究所技師　遠藤永次郎
同　黑川　眞武
特許局技師　小山　甲三
同　兒玉　忠雄
同　中村　保彦
同　島田　堅三
同　佐多　眞一
同　上野　宇三
工業試驗所技師　斯波　之茂
同　石村幸四郎
同　高橋　武雄
同　折戸　勇
同　相川　良次
同　松田多亀知
絹業試驗所技師　尾川　岸太
鑛山監督局書記官　風早　義確
同　榎本　勝造
同　阿部　豊
同　橋原　勉
鑛山監督局技師　橋崎　研次
鐵道技師　三宅　靜一
同　小日向榮次郎
同　三好　新八
同　善如寺秀太郎
同　後藤　猛
同　石川　貫一
同　渡邊　寛治
鐵道局參事　大石　定吉
鐵道局副參事　間阪磨四郎
同　清　計太郎
鐵道局技師　金山　芳造
同　若林　崇
同　馬場　倉造
同　土井源三良
同　梶浦浩二郎
同　中島　昌夫
同　簗瀨　貞
同　太月　武一
鐵道局技師兼鐵道技師　藤井水三郎
鐵道局技師　依田　收一
同　三善　誠
同　大谷　泰德
垣田　直人
馬場　橋吉
羽中田喜代作
鐵道局副參事　庄　肇
堀尾　利信
同　河内　蘭洲
鐵道局技師　武田　量華
同　藤田金次郎
同　伊東　祐介
鐵道省事務官　加藤鐵三郎
鐵道技師　岡　峻
同　牧野鍵太郎
同　平山　聚
同　石田啓次郎
同　吉岡　重慶
鐵道局副參事　高松金太郎
同　吉田　薦
同　濱藤吉太郎
同　一瀨　三郎
同　櫻井　藤吾
同　櫛田　博
同　安田　裕
同　岡田　五郎
同　中村豊四郎
鐵道局技師兼鐵道技師　岡　三郎
鐵道局技師　後藤　有三
同　折田　徹
同　板倉　寛
同　三好　武夫
同　大森　義文
同　今治　一雄
同　汐見　一郎
同　櫻井健治郎
陸軍技師　田中　宗雄
陸軍教授　内藤　博
陸地測量師　久任　進
同　渡邊　常造
同　高重　新三
同　奥戸　義確
同　小田　久藏
同　小川　保男
同　陳　慶華
同　遠山續太郎
同　西田賢次郎
同　磯部　秀夫
同　西尾　貢一
同　石井　末一
同　石井　文治
司法官試補　上田　孝造
同　黑坂　一男
任判事
敍高等官七等
同　伊東　勝
同　池本　光治
同　石合茂四郎
同　出射　義夫
同　羽中田金一
同　瀧田善次郎
同　西川　金矢
同　小幡勇二郎
同　大久保重太郎
同　加藤　毅
同　川上　悍
司法官試補兼陸軍工兵少尉正八位　輕部　武
司法官試補　上山　義昭
同　横川陽五郎
同　高木　尊之
同　松浦　英雄
同　笹原　元
同　平井　進
任檢事
敍高等官七等

第1799号

陞敍高等官六等　同　江口　親憲
三級俸下賜　貴族院速記士　小宮八十二
　衆議院書記官　大池　眞
二級俸下賜　朝鮮總督府技師　兒玉五三郎
（各通）　朝鮮總督府道理事官　伊藤辰次郎
依願免本官　臺灣總督府典獄　松井晟千代
　臺灣總督府地方理事官　佐藤　房吉
　臺灣總督府技師　白倉　好夫
　臺灣公立實業學校長　內田　佳雄
（各通）　臺灣總督府交通局技師　日岡　長明
　臺灣總督府法院判官　鷲海　隆
　臺灣總督府專賣局技師兼臺灣總督府中央研究所技師　加藤宣次郎
　臺灣總督府專賣局技師　佐藤　喜吉
　臺北帝國大學教授　青木文一郎
陞敍高等官三等　臺灣公立實業學校教諭　八尋　確一
　臺灣總督府技師　海江田靜養
　臺灣總督府交通局技師　山田　北男
　臺灣總督府臺北醫學專門學校教授　竹內八和太
　臺灣總督府專賣局副參事　奧村　文市
　臺灣總督府中央研究所技師兼臺灣總督府技師　松浦作治郎
（各通）　臺灣總督府視學官　井上　重人
　臺灣總督府臺北高等商業學校教授　新里　熒造
　臺北帝國大學教授　楠井　隆三
　臺灣總督府法院檢察官　坂元　義文
　臺灣總督府技師　鳥居　敬造
　臺灣總督府交通局技師　齋藤　四郎
　臺灣總督府視學官　大浦　精一
陞敍高等官四等　臺灣總督府臺北高等商業學校教授　尾古　祿爾
　同　末武　文重
　臺灣公立中學校教諭　渡邊　精善
　臺灣總督府交通局技師　美濃部良晴
　臺灣公立高等女學校教諭　井上　政一
（各通）　臺灣總督府地方理事官　杉村　隆富
　臺灣總督府法院檢察官　佐々木道雄
　同　內田　松太
　臺灣總督府事務官　今田　卓爾
　臺灣總督府稅關事務官　高橋　尙秀
　臺灣總督府地方理事官　曾根原　弘
　同　伊藤　完二
　同　細井　英夫
　同　宮尾　五郎
　同　中平　昌
　同　藤田　淳敎
陞敍高等官五等　臺灣總督府師範學校教諭　村上今朝之進
　同　小山　朝丸
　臺灣公立高等女學校教諭　鄕原藤一郎
　臺灣總督府技師　黃　松　官
　臺灣公立實業學校教諭　片岡　治
　臺灣公立高等女學校教諭　小林　政廣
　同　山崎　則雄
　臺灣總督府地方技師　住谷　茂夫
（各通）　臺灣公立高等女學校教諭　岡本　亮
　同　臺灣公立中學校教諭　小田　賴二
　臺北帝國大學助教授兼臺北帝國大學附屬農林專門部教授　池田義一郎
　臺灣總督府法院判官　增田福太郎
　臺灣總督府地方理事官　川名　春治
　臺灣總督府法院判官　市來　吉至
　臺灣總督府技師　丸尾　美義
　同　岡　長二郎
　同　黃　炎　生
　臺灣總督府事務官　堀田　繁勝
陞敍高等官六等　加藤祐三郎
依願免本官　臺灣總督府醫院醫長　飯塚　實
（各通）　關東廳事務官　安永　登
　同　森本　勝己
　臺灣總督府地方理事官　佐々木道雄
　臺灣總督府法院檢察官　內田　松太
　臺灣總督府事務官　今田　卓爾
　臺灣總督府稅關事務官　高橋　尙秀
　臺灣總督府地方理事官　曾根原　弘
　同　伊藤　完二
　同　細井　英夫
　同　宮尾　五郎
　同　中平　昌
　同　藤田　淳敎
（各通）　臺灣總督府技師　飛木　恒一
　關東廳中學校教諭　田中　欣市
　關東廳遞信局事務官　市川　黛
　關東廳法院判官　都留　一雄
　旅順工科大學助教授　土井　靜雄
　旅順工科大學豫科教授　福島　榮彥
　旅順工科大學豫科教授　熊谷　三郎
　旅順工科大學助教授　中村　英夫
　旅順工科大學豫科教授　杉　牧夫
　關東廳遞信技師　寺田良之助
　關東廳警視　井關　安治
陞敍高等官五等　關東廳遞信技師　鹽田　信次
　關東廳高等女學校教諭　岡田米太郎
　關東廳警視　清水　澈
　關東廳事務官　山中　德二
　同　大和田彌一
　關東廳法院判官　高橋　文明
陞敍高等官六等　關東廳事務官　高倉　正
依願免本官　樺太廳高等女學校長兼樺太廳高等女學校教諭　谷內　讓
陞敍高等官三等　樺太廳警察部長　山崎　隆義
（各通）　樺太廳高等女學校教諭　新田　寬
陞敍高等官四等　古屋　碧
（各通）　同　菅　國定
陞敍高等官五等　樺太廳技師　川崎　勝
陞敍高等官六等　公立實業學校長　足達　丑六
陞シテ高等官四等ヲ以テ待遇セラル　地方農林主事　塩谷　鏈重
（各通）　朝鮮產業技師　豊田久兵衛
（各通）　臺灣產業技師　輪湖　清美
　臺灣衛生技師　江口　巖
　同　安倍　貞次
陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル　臺灣產業技師　角　長太郎
陞シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル　後藤　北面
陞シテ高等官七等ヲ以テ待遇セラル　大連女子商業學校長　樋口　光雄
（各通）　關東廳土木技師　中里　末雄
陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル　關東廳教育主事　山本壽喜太
陞シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル　燃料研究所屬　文野　安藏
高等官七等ヲ以テ待遇セラル（以上十二月二日內閣）
故陸軍歩兵少佐從六位勳五等　長岡　寬
特旨ヲ以テ位一級進陞セラル
陸軍工兵大佐從五位勳三等　河野　巽
陸軍砲兵中佐正六位勳三等　勅使河原文
（各通）　陸軍砲兵少佐正六位勳六等　今井　善治
陸軍歩兵少佐從六位勳五等　加瀨　泰一
陸軍歩兵大尉從六位勳四等　橋高　香一
正七位勳六等　澤田　由三
特旨ヲ以テ位一級進（以上十二月二日宮內省）　谷脇虎之助
官幣中社水無瀨宮宮司子爵　水無瀨忠政
四級俸下賜　官幣中社水無瀨宮宮司　水無瀨忠房
十一級俸下賜　道路主事　波若　敏郎
大阪府道路主事ニ補ス
道路技師兼土木技師　今井　武夫
京都府道路技師兼京都府土木技師ニ補ス　衛生技師　上井勇次郎
熊本縣衛生技師ニ補ス
九級俸下賜　防疫醫　吉岡　ツグ
鳥取縣防疫醫ニ補ス
六級俸下賜　同　岩塚　睿

八級俸下賜　同　小川　浩
名古屋地方職業紹介委員會委員ヲ命ス（以上十二月二日內務省）　青木鎌太郎
一級俸下賜　防疫官　高野　六郎
衞生局勤務ヲ命ス（十二月二日同）
神戶稅務署長心得ヲ命ス（十二月三日大藏省）　司稅官　松野　信雄
私立盈進商業學校服務ヲ免ス　歩兵第四十一聯隊附陸軍歩兵大尉　東　平作
補歩兵第四十一聯隊機關銃隊長　歩兵第四十一聯隊附陸軍歩兵中尉　小林　朝男
私立盈進商業學校服務ヲ命ス　歩兵第五十聯隊附陸軍歩兵大尉　山森　友吉
長野縣上水內郡西部農學校服務ヲ免ス　長野縣上水內農學校兼長野縣實業補習學校教員養成所服務陸軍輜重兵大尉　淺田　宰
兼長野縣上水內郡西部農學校服務ヲ命ス　陸軍一等看護官　吉澤　仁介
依願豫備役被仰付　陸軍歩兵少尉　原島　治平
　同　內田金二郎
　同　武本　務
　同　西本　克巳
　陸軍騎兵少尉　小林　茂盛
　陸軍砲兵少尉　毬井佐四郎
　陸軍工兵少尉　崎山保治郎
　同　荒川　守正
　同　冨田　八郎
　陸軍航空兵少尉　橫山　信治
　同　米津　太平
　陸軍三等主計　坂井　福一
　同　藤本　憲五
　同　堀江　巷二
　同　波多　友一
豫備役被仰付（以上十二月二日陸軍省）　同　桂　義奉
　同　加藤　糧一
　海軍教授　岩崎　眞澄
歐米各國ヘ出張ヲ命ス（十二月三日海軍省）
　橫須賀海軍港務部附海軍機關特務少尉　石井祐治郎
待命被仰付（十二月二日橫須賀鎭守府）
　海軍機關特務中尉　鏡山彥太郎
補橫須賀海軍電部附
　橫須賀防備隊附海軍機關特務少尉　鈴木　悌三
補拳風乘組
　拳風乘組海軍機關特務少尉　澤井　要造
橫須賀鎭守府附被仰付（以上十二月二日同）
　海軍通信學校附兼教官海軍特務中尉　菅　嘉傳次
補佐世保海軍無線電信所附
　梨乘組海軍特務少尉　南出　德平
補能登呂乘組（以上十二月二日佐世保鎭守府）
（各通）　北海道帝國大學教授　宮崎彪之助
　同　三輪　誠
賜本俸三級俸　同　中島　廣吉
賜本俸六級俸　同
本俸六級俸下賜　同　兒玉作左衞門
　同　井上善十郎
本俸七級俸下賜
　北海道帝國大學助教授　下坂　實
　同　權平　昌司
　同　熊澤　良雄
　同　竹多　勇
　同　黑岩　保
（各通）　同　片山　辰雄
　同　篠原　卯吉
本俸九級俸下賜　同
本俸十級俸下賜　同
　北海道帝國大學醫學部附屬醫院藥局長　酒井　隆吉
二級俸下賜
（各通）　北海道帝國大學學生生事　尾崎　卓郎
　北海道帝國大學事務官　岡村　信雄
四級俸下賜　北海道帝國大學司書官　柴田　定吉
五級俸下賜
（各通）　北海道帝國大學豫科教授　田上　政敏
　同　佐藤　久次
七級俸下賜（以上十二月二日文部省）
　地方農林主事　藤平　正祐
千葉縣農林主事ニ補ス
千葉縣農林技師ニ補ス
　同　田浦　準
島根縣農林技師ニ補ス（以上十二月二日農林省）
十級俸下賜　商工技師　猪越　律
商務局勤務ヲ命ス
　特許局審査官ヲ命ス（以上十二月二日商工省）　潔
特許局審査官ヲ免ス
一級俸下賜　商工書記官　岸　信介
　商工事務官　楠瀨　常猪
（各通）　同　菱沼　勇
　同　鈴木　英雄
三級俸下賜
（各通）　同　椎名悅三郎
四級俸下賜　同　酒井　喜四
（各通）　同　柏村　稔三
六級俸下賜　同　吉川悌二郎
　同　天日　光一
七級俸下賜
（各通）　同　岡村　武
八級俸下賜　同　橋井　眞
九級俸下賜　同　長谷川輝彥
七級俸下賜　商工省統計官　猪熊　信一
二級俸下賜
八級俸下賜　同　石田　磊
七級俸下賜　保險事務官　菅波　稱事
八級俸下賜　同　高橋　哲
七級俸下賜　度量衡事務官　和田　太郎
年俸六百圓加賜　商工技師　渡邊　襄
一級俸下賜　同　佐藤筌太郎
（各通）　同　飯塚保五郎
　同　石井　清彥
　同　木下　龜城
五級俸下賜
（各通）　同　赤木　健
六級俸下賜　同　村山　賢一
（各通）　同　今泉　門助
七級俸下賜　同　川村　英雄
（各通）　製鐵所理事　磯谷　光亨
二級俸下賜　製鐵所副參事　大島　義男
五級俸下賜　同　畠中　大輔
（各通）　同　明石　德市
六級俸下賜　同　荒木　幸雄
（各通）　同　平尾　清治
七級俸下賜　同　南　好雄
　同　稻山　嘉寬
（各通）　製鐵所技師　石賀　亮敎
　同　田中　稔
　同　谷　宗雄
　同　進來　要
　同　松原　正良
　同　志道　鉞造
二級俸下賜

本文 17799 号

三級俸下賜　同　松原武三郎
（各通）同　角野　尚德
四級俸下賜　同　田川淺次郎
（各通）同　足立　逸次
五級俸下賜　同　田中　三郎
（各通）同　松浦　道徹
八級俸下賜　同　大庭　三郎
（各通）同　平井　要
三級俸下賜　製織所醫官　柴田純一郎
一級俸下賜　特許局事務官　吉原　隆次
三級俸下賜　同　西川　浩
四級俸下賜　同　川本　健治
（各通）同　細川政之助
六級俸下賜　同　山本　茂
（各通）同　美濃部洋次
七級俸下賜　同　新井　茂
八級俸下賜　同　石田祐次郎
九級俸下賜　同　三木　秋義
（各通）同　鈴木　重郎
二級俸下賜　同　松田　太郎
（各通）同　特許局技師　片木　久吉
六級俸下賜　同　小林　正藏
（各通）同　堺井　勘一
七級俸下賜　同　矢津　浩
（各通）同　小松鑛太郎
同　坂田　一親
八級俸下賜　同　菊池　猶喜
（各通）同　交川　有
十級俸下賜　同　平田　義次
（各通）同　工業試驗所技師　大森台三郎
五級俸下賜　同　秋吉　三郎
八級俸下賜　同　渡邊　正樹
（各通）同　江見　浩一
九級俸下賜　同　折戸　勇
十一級俸下賜　絹業試驗所技師　林　廣修
八級俸下賜　陶磁器試驗所技師　小川新一郎
十級俸下賜　鑛山監督局書記官　醫井　桃二
三級俸下賜　同　衣川　毅夫
四級俸下賜　同　旭山　正夫
五級俸下賜　同　稻原　勉
（各通）同　風早　義確
八級俸下賜　同　榎本　勝造
九級俸下賜　鑛山監督局技師　佐分利輝一
五級俸下賜　同　安田　泰治
（各通）同　燃料研究所技師　諏訪　哲郎
七級俸下賜　輸出絹織物檢査所技師　大塚　廣通
四級俸下賜　武富　喬
五級俸下賜　岡本　善之
同　臨時產業合理局事務官　長崎榮十郎
六級俸下賜　臨時產業合理局技師　島居直三郎
一級俸下賜　同　菊池　猶喜
七級俸下賜（以上二十二日同）　拓務技師　中村　昌藏
二級俸下賜　拓務事務官　山越　道三
五級俸下賜　同　赤重　干夫
六級俸下賜　同　高橋　敏雄
七級俸下賜　同　江口　親憲
八級俸下賜　樺太廳觀測所技師　重富　剛策
三級俸下賜　樺太廳中學校教諭　林　章
同　樺太廳高等女學校教諭　相田　泰三
（各通）同　樺太廳中央試驗所技師　川瀨　逸二
同　田中　勝吉
四級俸下賜　同　岩本　忠
五級俸下賜　樺太廳支廳長　千藏　保臣
（各通）樺太廳警視　森永　茂市
七級俸下賜　樺太廳技師　中村　勝郎
八級俸下賜　同　山岸　亮
九級俸下賜（以上二十二日拓務省）　師範學校教諭　野口　廣信
公立高等女學校教諭　島田　增平
四級俸當分貳千拾圓下賜　同　野間　忠雄
四級俸當分千拾圓下賜　同　堺　俊郎
五級俸當分千九百貳拾圓下賜　同　梯　英雄
（各通）同　公立高等女學校教諭　石塚　好忠
五級俸當分千八百四拾圓下賜　同　佐野　シゲ
（各通）同　田川ミドリ
六級俸當分千下賜　同
六級俸當分七百圓下賜　同　吉澤　英一
七級俸當分千五百參拾圓下賜（以上二十二日東京府）　公立實業學校教諭　高木　芳雄
昭和七年十二月二十一日ヨリ年功加俸年額百九拾貳圓下賜（以上二十二日石川縣）　地方農林技師　平澤　滋
十一級俸下賜（以上二十二日富山縣）　地方農林主事　土屋　大助
十一級俸下賜（以上二十二日香川縣）　衛生技師　大桐　良藏
七級俸下賜　地方商工技師　石栗　眞一
八級俸下賜　地方警察技師　山口　敏男
九級俸下賜　土木技師兼道路技師　佐山　哲
（各通）十級俸下賜（以上二十二日同）　地方商工技師　村田　清淳
九級俸下賜（以上二十二日愛媛縣）　地方農林技師　竹內義三郎
八級俸下賜　道路技師兼土木技師　小堺　秀次
十級俸下賜　地方農林主事　鵜野　主馬
（各通）地方農林技師　佐藤　敏夫
同　安藤　秋男
八級俸下賜　同　三隅　虎雄
（各通）同　藤　勝四郎
九級俸下賜　兼本　盛光
（各通）同　光安　正信
十級俸下賜　同　織田富士夫
同　中村　武雄

（各通）同　石橋　一
十一級俸下賜　同　武內　晴好
（各通）地方商工技師　齋田　義雄
八級俸下賜　社會事業主事　渡邊熊太郎
九級俸下賜　衛生技師　松浦　紀
六級俸下賜　公立圖書館司書　廣瀨宇之助
五級俸下賜　公立中學校長兼公立中學校教諭　小川　直熙
二級俸下賜　同　生田德太郎
五級俸下賜　公立高等女學校長兼公立高等女學校教諭　田中　次郎
（各通）同　松本　寬吉
六級俸下賜　同　森　了造
八級俸下賜　公立高等女學校長　吉村金左衛門
六級俸下賜　公立實業學校長兼公立實業學校教諭　瀨尾　周市
七級俸下賜　同　安部勝十郎
（各通）同　藤　與三
八級俸下賜　同　武內房太郎
七級俸下賜（以上二十二日福岡縣）　公立鹽學校長　渡邊　一郎
公立中學校教諭　小野　賢木
七級俸當分千六百貳拾圓下賜　公立中學校舍監　小野　賢木
加俸年額六拾圓下賜（以上二十二日大分縣）　地方農林技師　城　正人
八級俸下賜（以上二十二日同）　公立中學校教諭　榎田　榮次
七級俸七拾貳圓　同　塩川　一雄
七級俸當分千五百下賜
七級俸當分千五百貳拾四圓下賜　公立實業學校舍監　島　村太
加俸年額九拾六圓下賜（以上二十二日熊本縣）　公立實業學校教諭　石崎　榮
八級俸當分千四百下賜（以上二十二日同）　公立高等女學校教諭　藤岡　晉
貳拾八圓
六級俸下賜（以上二十二日同）　地方農林技師　安田清次郎
（各通）同　藤本　虎喜
九級俸下賜　今本　愛人
十級俸下賜　道府縣立感化院教諭　日高　武六
十二級俸下賜　療養所醫員　內田　守
七級俸下賜　樹原五百枝
八級俸下賜（以上二十二日同）

正誤

昨二十六日本欄八三八頁二段林田寅太郎ハ林田寅次郎ノ報告誤

本月二十二日本欄六八八頁四段永井一雄ノ辭令文「十級俸下賜」ハ「十一級俸下賜」ノ報告誤

昨二十六日同八三五頁三段清水穆夫ノ辭令文中「同研究部部員」ハ「同校研究部部員」ノ誤植

宮廷錄事

◉行幸　天皇陛下ハ昨二十六日午前十時三十五分御出門貴族院ヘ行幸帝國議會開院式ヲ行ハセラレ同十一時二十五分還幸アラセラレタリ

◉御親電並御答電　本月二十三日滿洲國駐箚特命全權大使武藤信義同國執政閣下ヘ信任狀捧呈ニ付同執政閣下ヨリ天皇陛下ヘ御親電ヲ寄セラレ同二十四日天皇陛下ハ之ニ對シ御答電ヲ御發送アラセラレタリ

◉御救恤　本月二十三日東京府東京市深川區富川町火災ノタメ被害不尠趣聞食サレ御救恤トシテ天皇皇后兩陛下ヨリ金壹封ヲ同府ヘ下賜セラレタリ

◉陸海軍　近衛野砲兵聯隊ニ於テ去月二十日左記ノ者ニ各〻蹄鐵術卒業證書ヲ付與セリ（陸軍省）

栃木縣　陸軍砲兵上等兵　牛田　貫一
同　同　松井　金藏
群馬縣　同　戸塚　悅三
長野縣　同　吉澤　英運
同　同　倉科　清人
栃木縣　同　齋藤　勝常
茨城縣　同　關口　一
長野縣　同　柳澤和三郎
茨城縣　陸軍砲兵一等兵　山田　留吉
群馬縣　陸軍砲兵上等兵　清木　廣久
茨城縣　陸軍砲兵一等兵　增山　宣
同　陸軍砲兵上等兵　木村　繁雄
栃木縣　陸軍砲兵一等兵　菊地菊太郎
群馬縣　木村陸三郎
茨城縣　根本　喜平
同　門井　武雄
長野縣　坪田　文典
同　田中　竹三
栃木縣　谷田　良三
長野縣　小林　賢次
栃木縣　赤羽　勝衛
長野縣　腰原　政人
栃木縣　布施忠三郎
茨城縣　大古　好雄
栃木縣　池田　榮
茨城縣　庄司　政德
長野縣　井上　力
同　井出　忠男
茨城縣　坂入　爲吉

彙報

○官廳事項

◉本邦駐箚白國大使賜暇歸國　本邦駐箚白耳義國特命全權大使男爵アルベール、ド、バッソンピエールハ本月十五日東京出發歸國セル旨就ニ其不在中ハ大使館書記官アルベール、バルバンソンニ於テ臨時代理大使タルヘキ旨同臨時代理大使ヨリ同十九日附ヲ以テ通知アリタリ

◉福岡駐在英國領事事務官事務所閉鎖　福岡駐在英國領事事務官事務所ハ今般右領事事務官大阪ニ移轉セル結果閉鎖セラレタル旨同國大使ヨリ本月十六日附ヲ以テ通知アリタリ

◉官吏改姓　海軍豫備機關少尉松岡昇ハ本年四月二十二日矢澤ト同豫備少尉鈴木政治ハ同六月二十四日金原ト執モ改姓セリ

◉官吏死去　海軍豫備機關中尉從七位高木義夫ハ本年四月三日同豫備機關大尉正七位小嶋盡一ハ同六月二日同豫備機關大尉正七位倉持和雄ハ同八月四日退役同豫備中佐正六位小宮駒次郎ハ同九月五日同豫備特務少尉正八位島收宗ハ同十月十六日同豫備機關特務少尉正八位石橋重威ハ去月十四日營林署技師從六位勳六等工藤儼藏ハ同二十九日退役海軍豫備少佐從六位小松原定吉ハ本月五日執モ死去セリ

○警察

◉豫約出版屆出　豫約出版法ニ依リ本月五日長野縣ヘ豫約出版ヲ屆出テタルモノ左ノ如シ（長野縣）

題號　軍士鑑
著作者　瀧川銀次郎
發行者　同上
發行所　松本市大字北深志上横田町一五五番地
著手年月日　昭和七年十二月十七日
◉豫約出版屆出　昭和三年九月六日小宮榮夫ヨリ長野縣ヘ屆出タル「信濃の誇り」ノ豫約出版ハ之ヲ履行シタル旨屆出テタリ（長野縣）

◉卒業證書付與　近衛野砲兵聯隊ニ於テ去月二十日左記ノ者ニ各〻蹄鐵術卒業證書ヲ付與セリ（陸軍省）

栃木縣　陸軍砲兵上等兵　松井　金藏
同　同　戸塚　悅三
群馬縣　同　吉澤　英運
長野縣　同　倉科　清人
同　同　齋藤　勝常
栃木縣　同　關口　一
茨城縣　同　柳澤和三郎
長野縣　陸軍砲兵一等兵　山田　留吉
同　陸軍砲兵上等兵　清木　廣久
栃木縣　陸軍砲兵一等兵　增山　宣
茨城縣　陸軍砲兵上等兵　木村　繁雄
同　陸軍砲兵一等兵　菊地菊太郎
栃木縣　木村陸三郎
群馬縣　根本　喜平
茨城縣　門井　武雄
同　坪田　文典
長野縣　田中　竹三
同　谷田　良三
栃木縣　小林　賢次
長野縣　赤羽　勝衛
栃木縣　腰原　政人
茨城縣　布施忠三郎
栃木縣　大古　好雄
茨城縣　池田　榮
栃木縣　庄司　政德
長野縣　井上　力
同　井出　忠男
茨城縣　坂入　爲吉

○學事

◉京都帝國大學法學部規程中改正　京都帝國大學ニ於テ本月二十日附法學部規程中左ノ通改正セリ（文部省）

第一條科目中「經濟原論」ヲ「經濟學（原論政策）」ニ改メ「統計學」「哲學概論」ヲ削除シ「社會學」ノ次ニ「倫理學（東洋、西洋）」ヲ加フ

規程ノ末尾ニ「附則（昭和七年十二月二十日法學部規程中改正ノ件）本改正ノ件ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」ヲ加フ

17799

◎學位授與 金澤醫科大學ニ於テ去月三十日附和歌山縣西貞恒、福井縣山田越二、宮崎縣坂元直夫ニ、本月一日附石川縣後藤貞夫、石川縣池本五月、富山縣猪原清ニ孰モ醫學博士ノ學位ヲ授與セリ(文部省)

◎講師囑託並解囑 京都帝國大學ニ於テ左ノ通頭書ノ日附ヲ以テ講師ヲ囑託並ニ解囑セリ(文部省)

昭和七年度工

一二、三月	學部講師囑託	武田	五一
同 七	同	齊藤	大吉
同 一三	講師解囑	醫學部講師	杉山世喜三

◎在外研究員出發 鐵道省在外研究員工務局技師永田金郎ハ本月二十二日出發セリ(鐵道省)

○ 運 輸

◎地方鐵道運輸開始 田口鐵道株式會社所屬鐵道清崎、三河田口間本月二十二日ヨリ旅客貨物運輸營業開始セル旨屆出アリタリ其粁程左ノ如シ(鐵道省)

驛名	所在地	粁程
清崎	(既設驛) 愛知縣北設樂郡	清崎、三河田口 四・五粁
三河田口	田口町大字田口	

○ 慈惠救濟

◎慈惠救濟生會記事 評議員重任 評議員侯爵蜂須賀正韶ハ本月十九日任期滿了ノ處仍重ネテ就任ノ儀總裁殿下ニ親王殿下ヨリ御沙汰アリタリ(內務省)

帝國議會

○ 貴族院

◎書類配付 昨二十六日左ノ書類ヲ配付(郵送)セリ

議事日程第一號

◎議事日程 今二十七日ノ議事日程左ノ如シ

議事日程 第一號

昭和七年十二月二十七日(火曜日)

午前十時開議

第一 全院委員長ノ選擧

第二 常任委員ノ選擧

○ 衆議院

◎拜謁 昨二十六日秋田議長、植原副議長ハ便殿ニ於テ 天皇陛下ニ拜謁仰付ケラレタリ

◎議席變更 昨二十六日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

番號		番號	
一三	杉山、永島	一四	安部、磯雄

◎會議 去二十六日ノ本會議議事經過左ノ如シ

午前十一時二十七分開議

議長ハ院議ニ諮ヒ開院式 勅語奉答文案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託シテ之ヲ起草セシムルニ決シタル旨ヲ宣告シ直ニ委員ヲ指名シ且委員ハ是ヨリ交渉室ニ參集シ起草ニ著手セラレムコトヲ望ム旨ヲ告ケ暫時休憩ヲ宣告ス

開院式 勅語奉答文起草ノ件委員長ノ報告ニ係ル左ノ奉答文案ハ全會一致ヲ以テ之ヲ可決ス

恭シク惟ルニ

車駕親臨シテ玆ニ第六十四回帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ケサセラレ優渥ナル 勅語ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス臣等愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ上陛下ノ聖旨ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス衆議院議長 臣秋田清誠恐誠惶謹ミテ奏ス

議長ハ明二十七日ハ先例ニ依リ午前十時ヨリ本會議ヲ開ク旨ヲ告ケ書記官ヲシテ議事日程ヲ報告セシム

午前十一時五十三分散會

◎議案提出 昨二十六日議員ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

敦賀清津羅津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案(熊谷五右衛門外一名提出)

田島今市間鐵道速成ニ關スル建議案(中野寅吉外一名提出)

矢吹原國營開墾ニ關スル建議案(中野寅吉提出)

◎質問書提出 昨二十六日議員ヨリ提出シタル質問主意書左ノ如シ

足尾銅山鑛毒問題ニ關スル質問主意書(栗原彦三郎提出)

◎議事日程 今二十七日ノ議事日程左ノ如シ

議事日程 第一號

昭和七年十二月二十七日(火曜日)

午前十時開議

第一 全院委員長ノ選擧

第二 常任委員ノ選擧

正 誤

昨二十六日本欄貴族院ノ部議員議席ノ項中八四三頁一段末行「松木忠藏」ハ「松平忠藏」部屬及部長理事ノ項中八四四頁三段七行「子士御門晴善」ハ「子爵士御門晴善」同四段九行「西田辻公堯」ハ「西四辻公堯」八四五頁一段十九行「岡部邦輔」ハ「岡崎邦輔」同二十四行「岸精一」ハ「岸清一」ノ誤モ誤植

地方行政

◎府縣會 去月二十四日招集ノ通常京都府會ハ本月二十三日閉會セリ(京都府)◎去月二十八日閉會セリ(大阪府)◎去月二十四日閉會ノ通常鳥取縣會ハ議事結了本月二十三日閉會セリ(鳥取縣)◎去月二十二日閉會ノ通常宮崎縣會ハ議事結了本月二十一日閉會セリ(宮崎縣)

◎名譽職縣參事會員補闕 京都府ニ於テ名譽職參事會員井上庄造、福井晴吉、北波長三郎、芳山正城辭任ニ付同補充員岩本義襲、神先惣右衛門、俣野昌平、日下部一成ヲ以テ補闕セリ(京都府)

◎縣會副議長當選 鳥取縣ニ於テ本月二十一日縣會副議長松田昌治辭職ニ付同日開會中ノ通常縣會ニ於テ其補闕選擧ヲ行ヒシニ金田秀平當選セリ(鳥取縣)

在外公館報告

◎英國無稅品目追加 本件ニ關スル本月二十三日著英國阪谷松平特命全權大使電報左ノ如シ(外務省)

關稅諮問委員ノ勸奬ニ基キ Manila hemp, ibromide bristles 寶石ナラサル模造又ハ人工ノ石及飾玉外國特許局明細書 tantalum metal 六種品ヲ無稅品目表ニ加フルコト、爲リ十二月二十九日ヨリ實施ノ旨發令アリタリ

◎英國商況 本件ニ關スル本月二十三日著倫敦駐在松山商務參事官電報左ノ如シ(外務省)

職債支拂ノタメ英蘭銀行保藏金約一千九百六十萬磅減少發行準備千七百萬磅減ニ先週來割引率稍ゝ强化氣味ニテ一「パーセント」八分ノ三ヲ唱ヘタルカ元々市場金利ハ頗ル低下ノ際故何等ノ波瀾モナク外國資金ノ流入モアリ程ナク遊資順調割引歩合モ緩和セラルヘシ爲替市場ハ磅大陸筋需要持續ニ漸騰三弗三十仙突破當局ハ餘リ急激ノ上騰ヲ悅ハサルモノヽ如調佛蘭西ノ政情氣懸リニテ法政關先物殊ニ敢化本邦爲替ハ當局ノ取締方針利キテカ大體小康ヲ得居ル形

鐵鋼界、銑鐵休暇前ノ劇ニハ取引良好、クリーヴランド値下ケノ期待外レニ休暇後ハ本筋ノ需要擡頭ヲ氣構フ、半製鋼頗ル閑散、仕上鋼需要緩漫、鋭力市況幾分好轉輸出向照會相當ナルモ磅高ニテ商談困難ナル向モアリ黑板相變ラス鈍重

鐵鋼界合理化事業ノ一ツトシテ一九三〇年、セキュリティーズ、マネーヂメント、トラスト」ノ後援ニ依リ設立ノ「ランカシヤ、スティール、コポレーション」ハ今回針金製造會社「ホワイト、クロス、カンパニー」ヲ合同シタルカ所要資金ハ「バンカース、インダストリアル、デヴェロプメンド、カンパニー」其他ヨリ供給セラル、由、銅値段區々ナルカ安値ニテ取引高相當二十八磅八志、錫國內需要良好ニテ「ストック」減少相場手堅ク百四十九磅、鉛業界原棉、軟弱ニテ製造品市況振ハス印度向鈍狀支那向「サティーン」「ポプリン」等ノ安物ニ成約少々

六藩織機問題ハ勞働側モ取極ヲ認諾スルコト、爲ル

植民地ニ於ケル本邦品排斥運動ヲ組織化スルタメ紡績聯合會紡績同業會、カリコ、プリンタース、ピース、ダイアース」綿業改造合同委員勞働組合等ノ代表者ヨリ成ル一委員會設立セラル、人絹國內「ドレス、マテリアル」需要良好、自治領向ハ濠洲向最モ好調印度向ハ値段出合ハス支那向沈靜蘭領大隱保合セ二片三十二分ノ十五、硫安國內市況順當輸出向堅實國內相場六磅二志六片輸出相場一重袋F.O.B五磅五志

日本商品大手売、十二、二月積、新物十一志六片、青豌豆閑散、值段手堅ク三十二志稅金込、大豆鈍狀七磅三志九片、大豆油沈靜十八磅五志、絹織物、クリスマス」間近ニテ小賣方面多少人氣出テ居ルモ問屋筋ハ棚卸シ其他ニテ舊明ケマテハ新規商談閑散

觀 象

◎全國氣象表(正午觀測)

(備考) 氣壓ノ部ニ印ハ水銀柱ノ高ヲ示シ時水銀ハ攝氏午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ極値ナリ

十二月二十三日	地名	氣壓(粍)	風向	風速(米/秒)	天氣概況(東京)	氣溫(攝氏)
	稚内	766.1	東北東	9	快晴	21
	網走	767.5	北東	5	快晴	21
	根室	769.1	東北東	2	快晴	13
	函館	769.4	北北東	3	快晴	11
	高田	770.9	北東	2	快晴	11
	大分	770.9	北西	2	快晴	10
	多度津	771.0	北北東	2	快晴	9
	鹿島	770.8	北	3	快晴	10
	大阪	770.4	東	1	晴	11
	福岡	770.6	北北東	2	晴	10
	宮古島	771.1	北東	6	快晴	8
	台北	769.5	北	11	晴	7
	廣島	768.8	北	8	快晴	8
	京都	767.0	北北西	6	快晴	7
	銚子	766.9	東	11	快晴	6
	長野	767.6	北	2	快晴	8
	福井	766.7	南南西	9	晴	7
	宇都宮	767.1	西南西	3	曇	3
	福島	771.1	北北西	7	曇	7
	新潟	770.4	西	3	曇	3
	秋田	768.0	北北西	9	曇	−1
	石巻	766.4	北西	3	曇	1
	青森	766.3	西	10	曇	−4
	函館	764.9	西	6	曇	−5
	札幌	762.3	北西	2	曇	−6
	帯廣	760.3	西南西	7	曇	−22
	根室	758.1	北北西	9	曇	−7
	浦河	756.4	北北東	2	快晴	8
	大泊	771.3	北東	2	曇	−2
	仁川	773.3	靜穩	1	曇	0
	元山	772.7	北北西	3	曇	−3
	鎮南浦	773.7	北	4	曇	−7
	新義州	774.1	北西	6	曇	1
	大邱	773.9	南	4	曇	−8
	釜山	773.6	東	4	曇	−9
	馬山	771.8	南	1	曇	0
	天津	772.6	靜穩	1	曇	4
	青島	772.8	東南東	5	曇	4
	大連	769.9	靜穩	1	曇	12

◎東京氣象

十二月二十三日			
平均氣壓(海面ノ度)	七六七・二粍	平均水蒸氣張力	二・八粍
平均氣溫	四・九度	平均雲量	一・七
平年ヨリ一・〇度高シ		日照時間	七・九時
最高氣溫	八・九度	平均風速度	六・三米
最低氣溫	三・〇度	最大風速度	八・八米
前五日間平均氣溫	六・五度	最多風向	北
平年ヨリ二・四度高シ		降水總量	—
平均濕度	四五%	降水最大一時間	—
		記事	—

(以上中央氣象臺)

土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者 內務大臣

事業ノ種類 道路改築

起業地 富山縣西礪波郡石動町地內

右公告ス

昭和七年十二月二十七日

內務大臣 男爵 山本達雄

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者 愛知縣名古屋市

事業ノ種類 學校建設

起業地 愛知縣名古屋市東區田代町地內

右公告ス

昭和七年十二月二十七日

內務大臣 男爵 山本達雄

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者 廣島縣廣島市長

事業ノ種類 道路改築

起業地 廣島縣廣島市吉島町、三篠町、廣瀨町、東白島町地內

右公告ス

昭和七年十二月二十七日

內務大臣 男爵 山本達雄

大正十年五月十三日內閣ノ認可公告ニ係ル東京都市計畫事業ニシテ東京市長ニ於テ執行スヘキ第六大路第三類第十一號路線中四谷區新宿三丁目六番地ヨリ同二十番地ニ至ル街路擴張ノ爲メ收用スヘキ土地ノ細目左ノ如シ

昭和七年十二月二十七日

東京府知事 香坂昌康

土地細目

東京市四谷區新宿三丁目六番ノ二、同番ノ三、七番ノ一、同番ノ二、二十五番ノ一、同番ノ二、二十六番ノ一、二十番ノ一、同番ノ二、同番ノ三、同番ノ四同番ノ五同番ノ六、二十一番宅地

大正十年五月十三日內閣ノ認可公告ニ係ル東京都市計畫事業ニシテ東京市長ニ於テ執行スヘキ二等大路第二類第十四號路線中本郷區駒込動坂町二百十五番地ヨリ同二百二十二番地ニ至ル街路擴張ノ爲メ收用スヘキ土地ノ細目左ノ如シ

昭和七年十二月二十七日

東京府知事 香坂昌康

土地細目

東京市本郷區駒込動坂町二一五番、二二一番、二二二番宅地

昭和七年十二月九日內務大臣ノ事業認定公告ニ係ル大阪府知事起業府縣道枚方茨木線改築ノ爲收用スヘキ土地ノ細目左ノ如シ

昭和七年十二月二十八日

大阪府知事 縣忍

大阪府三島郡溝咋村大字馬場一〇ノ一、二五、二六田

廣 告

◎生徒募集

昭和八年度入學ノ第一學年生徒約六十名募集ス入學志願者ハ其手續ヲ當校ニ就キ承合セラレタシ

昭和七年十二月

廣島高等師範學校附屬中學校

官報 第1799號

◎工場財團

和歌山市新内百八十五番地 紀陽染工株式會社ヨリ同所所在ノ本社工場ニ屬スル土地工作物竝ニ機械器具等ヲ新ニ工場財團ニ屬セシメタル旨ノ登記申請アリタルニ因リ其勤査ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ昭和八年一月二十九日マテニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ新ニ工場財團ニ屬セシメタルモノハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覧ニ供ス

昭和七年十二月二十七日 和歌山區裁判所

和歌山市新内百八十五番地 紀陽染工株式會社ヨリ同所所在ノ第二捺染工場ニ屬スル機械器具等ヲ新ニ工場財團ニ屬セシメタル旨ノ登記申請アリタルニ因リ其勤査ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ昭和八年一月二十九日マテニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ新ニ工場財團ニ屬セシメタルモノハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覧ニ供ス

昭和七年十二月二十七日 和歌山區裁判所

和歌山市新内百八十五番地 紀陽染工株式會社ヨリ同所所在ノ捺染工場ニ屬スル工作物竝ニ機械器具等ヲ新ニ工場財團ニ屬セシメタル旨ノ登記申請アリタルニ因リ其勤査ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ昭和八年一月二十九日マテニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ新ニ工場財團ニ屬セシメタルモノハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覧ニ供ス

昭和七年十二月二十七日 和歌山區裁判所

◎登記公告方

昭和八年中當區裁判所並ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ愛知縣名古屋市ニ於テ發行スル名古屋新聞名古屋毎日新聞ニ掲載ス

昭和七年十二月 一宮區裁判所

◎瓦斯事業主任技術者免狀交付

鉛衡ニ依リ本月二十一日瓦斯事業主任技術者免狀ヲ交付セル者ノ氏名ハ左ノ如シ

昭和七年十二月 商工省

今瀬 富也 甲種 高久 一男 天井義一郎

乙種 井田鐵三郎 海野 廣吉

◎公示送達

函館市高砂町百十一番地

(右ノ者ニ送達スヘキ昭和七年十月二十八日附昭和七年商標登錄願第一五七七二號訂正書差出方通知書)

右ノ書類ハ何時ニテモ送達ヲ受クヘキ者ニ之ヲ交付ス(シ)

右商標法施行規則第十六條ノ規定ニ依リ準用スル特許法施行規則第二十一條ノ規定ニ依リ公告ス

昭和七年十二月二十七日 特許局

◎航空機機關生募集

航空機機關生十名試驗ノ上採用ス志願者ハ左記ノ通心得(シ)

昭和七年十二月 遞信省

一志願者ノ資格

(イ)大正十年中文部省令第二號ノ工業學校規程ニ依ル工業學校機械科又ハ之ト同等以上ノ學校ノ機械科本科若クハ之ニ準ス(キ學科ノ本科卒業生又ハ本年三月卒業見込ノ者

(ロ)明治三十九年十二月一日ヨリ大正元年十一月三十日マテノ間ニ出生ノ者又ハ大正三年十二月一日以後ニ出生ノ者

(ハ)昭和八年四月一日ヨリ昭和十年三月三十一日マテニ兵役ニ徴集セラレサル者(但シ三週間以内ノ勤務演習ニ召集セラルヽ者ハ差支ナシ)

三、採用試驗

(イ)體格檢査 徴兵檢査規則ニ準シ東京ニ於テ之ヲ行フ

(ロ)學科試驗 左ノ科目ニ就キ大正十年一月文部省令第二號工業學校規程ニ依ル尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノ工業學校卒業程度又ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノ工業學校卒業程度ニ於テ東京ニ於テ之ヲ行フ但シ高等工業學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ機械科本科若クハ之ニ準ス(キ學科ノ本科卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノ工業學校卒業程度又ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノ工業學校卒業程度ニ於テ之ヲ行フ

(一)邦語 作文、講讀、筆蹟

(二)英語 英文和譯、和文英譯

(三)數學 算術、代數、幾何、三角

(四)物理

(五)化學

(六)製圖

(八)實地試驗 前項工業學校卒業程度ニ於テ東京ニ於テ之ヲ行フ

三、志願ニ關スル手續 昭和八年三月二十日マテニ願書戸籍謄本、履歴書、寫眞竝ニ第一號(イ)號ノ資格ヲ證スル之ニ足ル(キ當該學校長ノ證明書ヲ添付遞信省航空局(東京市麹町區大手町)ニ提出ス(シ)

四、航空機機關生心得 採用試驗ニ合格シ航空機機關生ニ採用セラレタル者ノ教育ハ東京府立工藝學校ニ於テ實施シ修業期間ハ約二年トシ其間修業費トシテ毎月金四十圓ヲ給與ス

五、志願ニ關スル諸注意 書式其他細部ニ關スル志願者ノ心得等ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ郵便切手貳錢ヲ添ヘ遞信省航空局ニ請求スヘシ但シ問合セニ關スル書面ニハ郵便切手參錢ヲ添付スヘシ尚ホ前各項ニ掲クル事項ノ外詳細ニ就テハ大正十二年叶遞信省令第四十二號航空機機關士養成規則(大正十三年十月十五日官報掲載)ヲ參照スヘシ

◎指定運送取扱人選定

昭和七年十二月二十七日 鐵道省

驛名 商號及氏名

東北本線 品井沼 千葉運送店千葉繁

會津線 桑原 桑原運送店鹿目市太郎

湯野上 湯野上運送合資會社

小海線 松原湖 佐藤運送店並木道太郎

佐久海ノ口 津金運送店津金兵太

龜草線 葉山 龜三省堂自動車運送合資會社出

治田 同

◎指定運送取扱人變更

指定運送取扱人左ノ通變更セリ

昭和七年十二月二十七日 鐵道省

驛名 商號及氏名

函館本線 川 軍川運送社機野榮藏

軍

◎代書人許可取消

大阪市大正區南恩加島町二番地十一 代書人 總 正理

同市同區鶴町一丁目六番地 同 山崎 善吉

同市同區北恩加島町五十八番地 同 伊波 盛水

右代書人規則第十四條ニ依リ本月十四日其許可ヲ取消シタリ

昭和七年十二月 大阪府

◎町村變更

富士郡鷹岡村ヲ町ト爲シ昭和八年一月一日ヨリ施行ス

昭和七年十二月 靜岡縣

◎所屬未定地編入

左ノ所屬未定地ヲ各其地先町ノ區域ニ編入シ昭和八年一月一日ヨリ施行ス

昭和七年十二月 青森縣

東津輕郡小湊町大字淺川二十一番ノ一號三番ノ一號五十六番七十二番ノ一號二號九十一番ノ十九號、十八號、十七號、百三十番、百三十一番、百三十二番、百三十三番地先

同郡同町大字東瀧字間木四十六番ノ一號四十七番ノ二號、三番ノ一號、五號、六號、八號、四番ノ一號二號、五番、四十一四番ノ三號、十八番、二十番ノ二號三番ノ一號二十五番ノ三號、二號三號、二十七番ノ一號、二號二十八番ノ一號二號地先

同郡同町大字深浦字間木四十七番ノ一號四十七番ノ二號、三番ノ一號、五號、六號、八號、四番ノ一號二號、五番、四十一四番ノ三號、十八番、二十番ノ二號三號、二十七番ノ一號、二號二十八番ノ一號二號地先

西津輕郡深浦町大字深浦字濱町一番ノ一號地先

一公有水面(海面)埋立地 面積 百四十二坪一合三勺二才

◎營業禁止

本籍山口縣玖珂郡岩國町大字錦見住所同一、九一一番地

古物商 福永 タミ

右古物商取締法第十四條ニ依リ本月二十三日其營業ヲ禁止セリ

昭和七年十二月 山口縣

◎購買入札

一錫地金一號 一、〇〇〇、〇〇〇瓩

含有量 (一)錫九九、八〇〇%以上(二)鉛〇、〇〇五%以下(三)アンチモニー〇、〇〇五%以下(四)砒素〇、〇〇五%以下(五)銅〇、〇〇五%以下(六)鐵〇、〇三%以下

一ニッケル地金二號(粒狀) 二、〇〇〇瓩

含有量(九八、五〇%以上)

一鉛地金 一、〇〇〇瓩

內譯

二號 (一)鉛九九、九〇%以上(二)鐵〇、〇〇四%以下(三)砒素〇、〇〇二%以下(五)アンチモニー〇、〇〇一%以下(六)亜鉛〇、〇〇五%以下(七)鐵〇、〇一%以下(八)蒼鉛〇、〇五%以下

一、〇〇〇、〇〇〇瓩

四號(鉛九八、五〇%以上) 一、〇〇〇、〇〇〇瓩

一亞鉛地金(上亞鉛一號) 一、〇〇〇、〇〇〇瓩

含有量 (一)亞鉛九九、五〇%以上(二)鉛〇、〇〇五%以下(四)カドミウム〇、五〇%以下

以上履行期限 昭和八年二月二十八日

一入札並開札 昭和八年一月六日午後二時

入札場所 當部購買課

公示書類 契約書案同課ニ在リ

入札保證金 入札價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

契約保證金 契約價格ノ百分ノ十以上(同上)

入札者資格 大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者

契約擔任官 佐世保海軍工廠會計部長時森良穎

昭和七年十二月二十七日 佐世保海軍工廠會計部

一入札場所 同課

入札並開札 昭和八年一月十日午前十一時入札即時開札

入札保證金 見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

入札者資格 大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ備フルヲ要ス

昭和七年十二月二十七日 名古屋遞信局

◎商業登記

●明知自動車株式會社資本增加

一增加資本總額 金四十四百圓

一資本增加決議年月日 昭和七年九月十五日

一各新株拂込金額 金二十圓

昭和七年十一月十五日登記 御嵩區裁判所明石出張所

●合資會社設立

一商號 合資會社市橋商店

一本店 福井市絲町十八番地

一目的 各種機物ノ販賣並ニ之ニ附帶スル一切ノ事業

一設立ノ年月日 昭和七年十一月五日

一代表社員ノ氏名 市橋政二、山本幸枝

一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任

一金一千圓但内金七百圓ハ現金外ニ福井郵便局電話手付八百五十二番ノ加入權此ノ價格金三百圓 無限責任 市橋政二

一金一千圓 無限責任 山本幸枝 福井市絲町十八番地

一金二千圓但内金千五百圓ハ現金外ニ動産九町六番地此ノ價格金五百圓 有限責任 前川四郎

一存立時期 會社設立ノ日ヨリ向フ十箇年

●合資會社設立

一商號 合資會社市橋商店

一本店 福井市絲町十八番地

一目的 各種機物ノ販賣並ニ之ニ附帶スル一切ノ事業

一設立ノ年月日 昭和七年十一月五日

一代表社員ノ氏名 吉田郡森田村古市一號十七番地

一同目的左ノ者清算人ニ選任ス

笹治佐一郎 吉田郡森田村古市一號十七番地

右昭和七年十一月十四日登記 福井區裁判所

●日本綿業株式會社清算結了

一昭和七年十一月五日清算結了セリ

昭和七年十一月十五日登記 敦賀區裁判所

●合資會社設立

商號 合資會社若松屋

本店 金澤市荒町三丁目二十三番地三十四番地

一目的 湯屋旅人宿之レニ附帶スル一切ノ事業

設立年月日 昭和七年十月二十二日

●合資會社設立

商號 合資會社市橋商店

本店 福井市絲町十八番地

一目的 各種機物ノ販賣並ニ之ニ附帶スル一切ノ事業

一同目左ノ者清算人ニ選任ス

笹治佐一郎 吉田郡森田村古市一號十七番地

右昭和七年十一月十四日登記 福井區裁判所

●日本綿業株式會社清算結了

一昭和七年十一月五日清算結了セリ

昭和七年十一月十五日登記 敦賀區裁判所

●合資會社設立

商號 合資會社若松屋

本店 金澤市荒町三丁目二十三番地三十四番地

一目的 湯屋旅人宿之レニ附帶スル一切ノ事業

設立年月日 昭和七年十月二十二日

●商業登記

●增加資本總額 金四百圓

一增加資本總額 金四百圓

一資本增加決議年月日 昭和七年九月十五日

一各新株拂込金額 金二十圓

昭和七年十一月十五日登記 御嵩區裁判所明石出張所

●合資會社設立

一商號 合資會社市橋商店

一本店 福井市絲町十八番地

一目的 各種機物ノ販賣並ニ之ニ附帶スル一切ノ事業

一設立ノ年月日 昭和七年十一月五日

一代表社員ノ氏名 市橋政二、山本幸枝

一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任

一金一千圓但内金七百圓ハ現金外ニ福井郵便局電話手付八百五十二番ノ加入權此ノ價格金三百圓 無限責任 市橋政二

一金一千圓 無限責任 山本幸枝 福井市絲町十八番地

一金二千圓但内金千五百圓ハ現金外ニ動産九町六番地此ノ價格金五百圓 有限責任 前川四郎

一存立時期 會社設立ノ日ヨリ向フ十箇年

●合資會社設立

一商號 合資會社市橋商店

一本店 福井市絲町十八番地

一目的 各種機物ノ販賣並ニ之ニ附帶スル一切ノ事業

一同目左ノ者清算人ニ選任ス

笹治佐一郎 吉田郡森田村古市一號十七番地

右昭和七年十一月十四日登記 福井區裁判所

●日本綿業株式會社清算結了

一昭和七年十一月五日清算結了セリ

昭和七年十一月十五日登記 敦賀區裁判所

●破產事件ノ配當ニ付公告

鹿兒島區裁判所大正十四年(ネ)十號

一補元十之助相續財產破產事件

配當ニ加フヘキ債權ノ總額 金三万九千百九十六圓三十錢也

配當スルコトヲ得キ金額 金五千百三十六圓四十錢也

右公告ス

昭和七年十二月二十三日

鹿兒島市西千石町一三三番地

右破產管財人 岡谷米太

鹿兒島區裁判所大正十四年(ネ)九號

一補元龍五郎破產事件

配當ニ加フヘキ債權ノ總額 金六万九千五百三十二圓九十八錢也

配當スルコトヲ得キ金額 金六千二百六十九圓八十二錢也

右公告ス

昭和七年十二月二十三日

鹿兒島市西千石町一三三番地

右破產管財人 岡谷米太

鹿兒島市西千石町一三三番地

右破產管財人 岡谷米太

●公示催告

限定承認及請求申出ノ公告

自分儀破相續人愛知縣碧海郡新川町字相生參番地ノ三亡犬塚甚太郎ノ家督相續人トシテ昭和七年十二月二十四日岡崎區裁判所ニ於テ其相續ノ限定承認ヲ爲シタリ依テ右被相續人ノ相續債權者及受遺者ハ此公告ノ日ヨリ昭和八年三月十日迄ニ申出ヲ爲サル時ハ其債權ノ辨濟ヨリ除斥セラルヘシ右民法第千二十九條ニ依リ公告候也

昭和七年十二月二十四日

愛知縣碧海郡新川町字相生三番地ノ三

犬塚甚太郎家督相續人 犬塚鎌一

鎌ノ限定承認者

●行旅死亡人

自稱青森縣東津輕郡油川町油川番地 不明佐藤時雄當二十五歳 相貌顏稍長眼鼻口耳並髮長丈

(備考) かなだ丸及ぶりすべん丸ノ小包ハ神戸區送トス

五尺三寸位著衣無地半纏 白木綿襦衣黑コールテン股引黑護謨底足袋所持品ナシ 癲病患者ニシテ乞食體

右去月二十一日死亡ニ付假埋葬セリ心當リノ者ハ申出ツヘシ

昭和七年十二月八日 千葉縣印旛郡鹿富村役場

◎臺灣銀行券發行週報

自昭和七年十二月十一日 至昭和七年十二月十七日

銀行券發行高

內制限外發行

準備

保證

四九、六三三、五七九、〇〇〇	
七、五五〇、六二七、〇〇〇	
二二、〇八二、九五二、〇〇〇	
二七、五五〇、六二七、〇〇〇	

臺灣銀行

正誤

本月十六日廣告二別刷商業登記ノ項中二七頁一段伊丹區裁判所西谷出張所ニハ伊丹區裁判所中谷出張所ノ誤植

◎外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

普通	書留	小包	郵便船出港	船名
月 日	時 月 日	時 月 日	時	
●加拿陀、米國、南米等行				
二、二六後零〇	二、二六前二、四〇	二、二六後二〇		横濱 日枝丸
同 二後三、一〇	同 三後 一、四〇	同 三前 九半	同	プレシデント、ゼフアソン號
同 三後零〇	同 三前二、四〇	同 三〇後一〇	同	東海丸
●南支那、香港、フイリピン群島、海峽殖民地、英領印度等行				
同 二後零〇	同 二後 六半	同 二、二六前 九半	神戸	丸
同 二後七	同 二後 六半	同 二、二六前 九半	神戸	丸
●英領北ボルネオ、蘭領行				
同 三〇前 八半	同 二後零〇	同 二、二六前 九半	門司	かなだ丸
●濠洲、新西蘭等行				
同 三〇前 八半	同 二後零〇	同 三後 四	同	ぶりすべん丸

(備考) かなだ丸及ぶりすべん丸ノ小包ハ神戸區送トス

特 1769 号 文 文

自治研究

法と共の被選守性……金森法制局部長
昭和七年地方財政の回顧……大村財務課長
時局匡救土木事業に就て……唐澤土木局長
先願か公益か……村上評定官
市町村行政改革の必要と共の基調……松村内務書記官
恩給問題の二三……樋貝恩給局長
農村負擔輕減問題……永安内務事務官
農家の公租負擔の現狀より見たる稅制整理問題……重政農林事務官
農村工業化について……田中農林書記官
道路經濟序論……武井内務書記官
改正罹災救助基金法の運用に就て……藤野社會局書記官
三新法の制定と其の前後……入江法制局參事官
議事妨害の一考察……中島内務事務官
米穀統制問題に就て……梶原農林事務官
漁船の進歩と漁村の施設……南農林書記官

警察研究

警察下命と私法との關係……美濃部達吉博士
新聞記事差止論……生悅住内務事務官
特別警察隊に就て……宮野内務書記官
最近に於ける日本共產黨の活動情勢と其の司法處分……池田司法書記官
治安維持法に關する大審院判例……三宅大審院判事
警察官の武器使用に就て……山崎丹照
寺院所有地の不法處分と罪責……飯塚司法書記官
團體の威力を示して犯したる暴行罪—警察判例批評(三二)……擔當者(田村教授 小川教授)

新年號 一冊一錢 一年(前金)四圓五十錢
新年增大號 壹圓一年(前金)四圓八十錢 (增大號)(本號に限り)

新法令の研究—訓令通牒—……擔當者(種村内務屬 松尾内務屬)
警察關係判例—質疑回答

大正十五年三月三十一日第三種郵便物認可 ◉號外昨二十六日發行帝國議會開院式勅語一頁◉速記錄(衆)第一號二頁

發行所 東京市麹町區大手町 電話丸ノ内三一〇五 振替東京六四四九
内閣印刷局

定價 一ケ月 九十五錢 一部 八十錢 (郵便料共 八ノ地域)
廣告料 本誌廣告 六號十四字詰三十錢 三號十行 二十五字詰 五號 四段十錢 各廣告料共

良書普及會

東京市小石川區 江戸川町 一五 振替東京六四四九 電話 小石川 一〇三五 九九一五

株式名義書換停止公告
昭和八年壹月壹日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス
昭和七年拾貳月貳拾七日
東邦火災保險株式會社

第拾八回決算報告
貸借對照表
(昭和七年十一月三十日現在)

貸方(負債ノ部) 円
資本金 一,五〇〇,〇〇〇,〇〇
積立金 一〇〇,〇〇〇,〇〇
法定積立金 七〇,〇〇〇,〇〇
特別積立金 一,四一四,〇〇〇,〇〇
社債 一,四一一,〇〇〇,〇〇
他店勘定 一,二〇〇,〇〇〇,〇〇
銀行勘定 一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇
現金 一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇
合計 一,一一四,一四二,七三二,六六

借方(資產ノ部) 円
土地 一,六〇一,二八五,六九
建物 一,一二三,五九二,〇〇
器具 四五七,三八三,〇〇
備品 一,六〇二,六〇七,〇〇
氷冷部 一七五,八二六,〇〇
製藏部 六五,五一七,四五
貯品 一〇〇,〇〇〇,〇〇
有價證券 一〇〇,〇〇〇,〇〇
受取手形 三五〇,〇〇〇,〇〇
假出金 七五九,九三〇,〇〇
未收入金 一六,一七九,九三
未經過利息 一〇四,三二八,〇〇
未經過保險料 六〇一,〇〇七,〇〇
銀行預金 一,九〇一,六一一,〇〇
現金 五,一七一,二〇〇,〇〇
合計 一,一一四,一四二,七三二,六六

當期利益金處分
當期利益金 一,一二三,五九二,〇〇
前期繰越金 一〇,六五五,四六,〇〇
合計 一〇,七七八,〇六八,〇〇
此處分左ノ如シ
法定積立金 一〇〇,〇〇〇,〇〇
後期繰越金 一〇七,五八〇,〇〇
右之通リニ候也
昭和七年拾貳月
堀川土地株式會社
取締役及監査役選擧ノ結果
取締役大澤重右衛門監査役生駒重孝重任監査役安藤俊三新任代表取締役ニ磯貝浩就任ス

第七期決算公告
貸借對照表
(昭和七年十一月三十日現在)

借方(資產ノ部) 円
合資會社勘定 一〇,〇〇〇,〇〇
建物 四三,二四七,五四
機械 一〇,七一〇,四四
工具 二一,〇二六,〇九
備品 四九,五〇六,四九
繼續費 二九,五六九,六七
引當金 一五,〇〇〇,〇〇
貯藏品 一三,三三,五一
製品 五四,二五六,〇五
半製品 六四,〇四二,八三
原料 三〇〇,九五八,〇九
貯藏品 一〇〇,〇〇〇,〇〇
合計 二,二五九,七四

貸方(負債ノ部) 円
資本金 一〇〇,〇〇〇,〇〇
法定積立金 二〇,〇〇〇,〇〇
未拂込有價證券 一四,二五九,七四
借用金 一五,〇〇〇,〇〇
假受金 三八,四九六,四〇
當座借越金 六〇八,九六,一〇
未拂金 一一,二四五,五八
前期繰越損失金 一五六,六一七,六六
合計 三〇〇,九五八,〇九
右之通リニ候也
昭和七年拾貳月拾九日
合資會社 取締役 三宮尼彰一郎 再選重任ス 新部 淺川省三 氏當選就任ス
義三郎 田沼義三郎 氏當選就任ス
追而取締役互選ノ結果取締役社長ニ田沼義三郎氏專務取締役ニ淺川省三氏當選就任ス
昭和七年十二月十九日
日本電熱線製造株式會社

第八拾七回決算公告
貸借對照表
昭和七年十一月三十日現在

資產 円
拂込未濟株金 一六,三三〇,〇〇〇,〇〇
起業費 五五,八八四,四〇一,七七
有價證券 一九,三六六,〇〇四,二四
貯藏品 四八,一六六,三一
製品 二七,七四八,三一
未決算 六一四,八三七,三一
社債募集差額 四,三七八,〇〇〇,〇〇
銀行勘定 三三,八〇〇,〇〇〇,〇〇
現金 一一〇,一一一,一四三,六六
合計 一,一一四,一四二,七三二,六六

負債 円
資本金 一〇〇,〇〇〇,〇〇〇,〇〇
積立金 六〇,八〇〇,〇〇〇,〇〇
特別積立金 四〇,一一〇,〇〇〇,〇〇
社債 一,四〇〇,〇〇〇,〇〇
拂込手形 一,二〇〇,〇〇〇,〇〇
諸預金 一,二〇〇,〇〇〇,〇〇
未決算 一,二〇一,三九一,九〇
前期繰越金 四四,三九一,九〇
當期利益金 九四,三一九,一一
合計 二,一一四,一四二,七三二,六六
昭和七年拾貳月貳拾四日
北海道炭礦汽船株式會社
取締役社長 磯村豐太郎
追テ取締役高洲鐵一郎氏再選重任セリ

PATENT WORKING ADVERTISEMENT

Patent No.37810.
Date January 12, 1921.
Subject: Weight indicator for scales.
Patentee, The General Automatic Scale Company, desires to sell this patent, or to grant licenses therefor on reasonable terms to any reliable ones in Japan.
Apply to
Tatsujiro Uchimura,
No.6, San-Chome, Marunouchi,
Kojimachi-Ku, Tokyo, Japan.

特許權實施廣告
右特許權者「セーピ、ネウル、オートマティック、スケール、コムパニー」ハ前記特許ヲ相當ノ條件ニテ日本ノ信ヲ委ハシタル人ニ其ノ使用ヲ讓リ渡シ若クハ許諾セント
辨理士 内村達次郎
東京市麹町區丸ノ内三丁目六番地仲二號商四階

(本書ノ大サハ國定規格A4判)

本文 1799 号